

特67

648

刻 翻

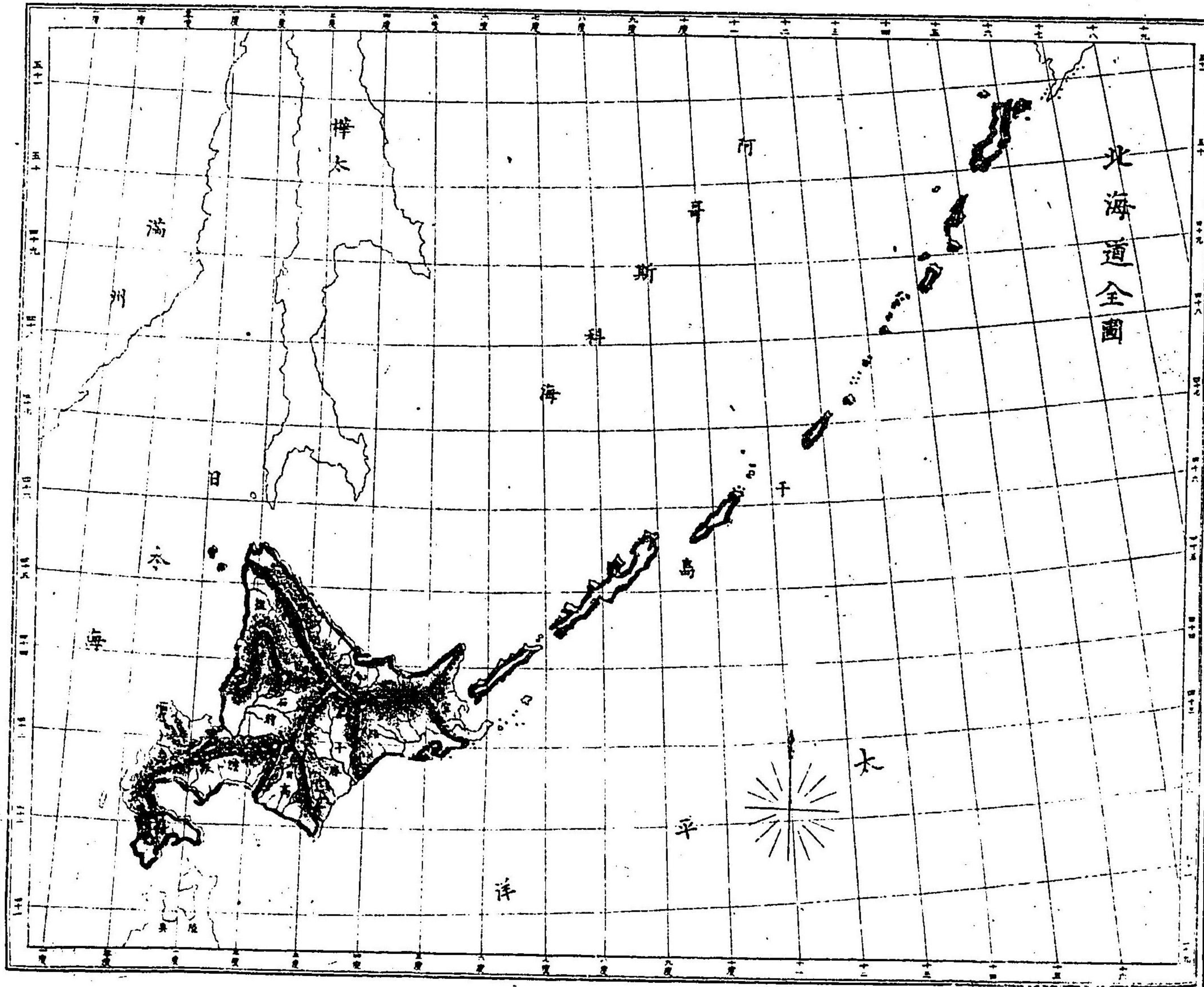
師範學校編輯

第四冊

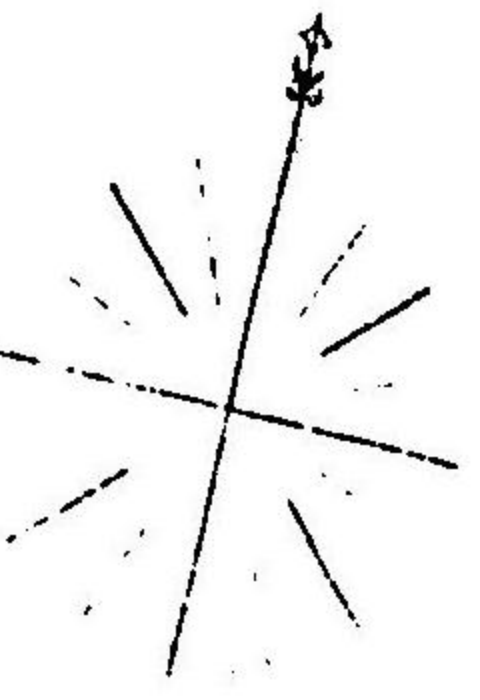
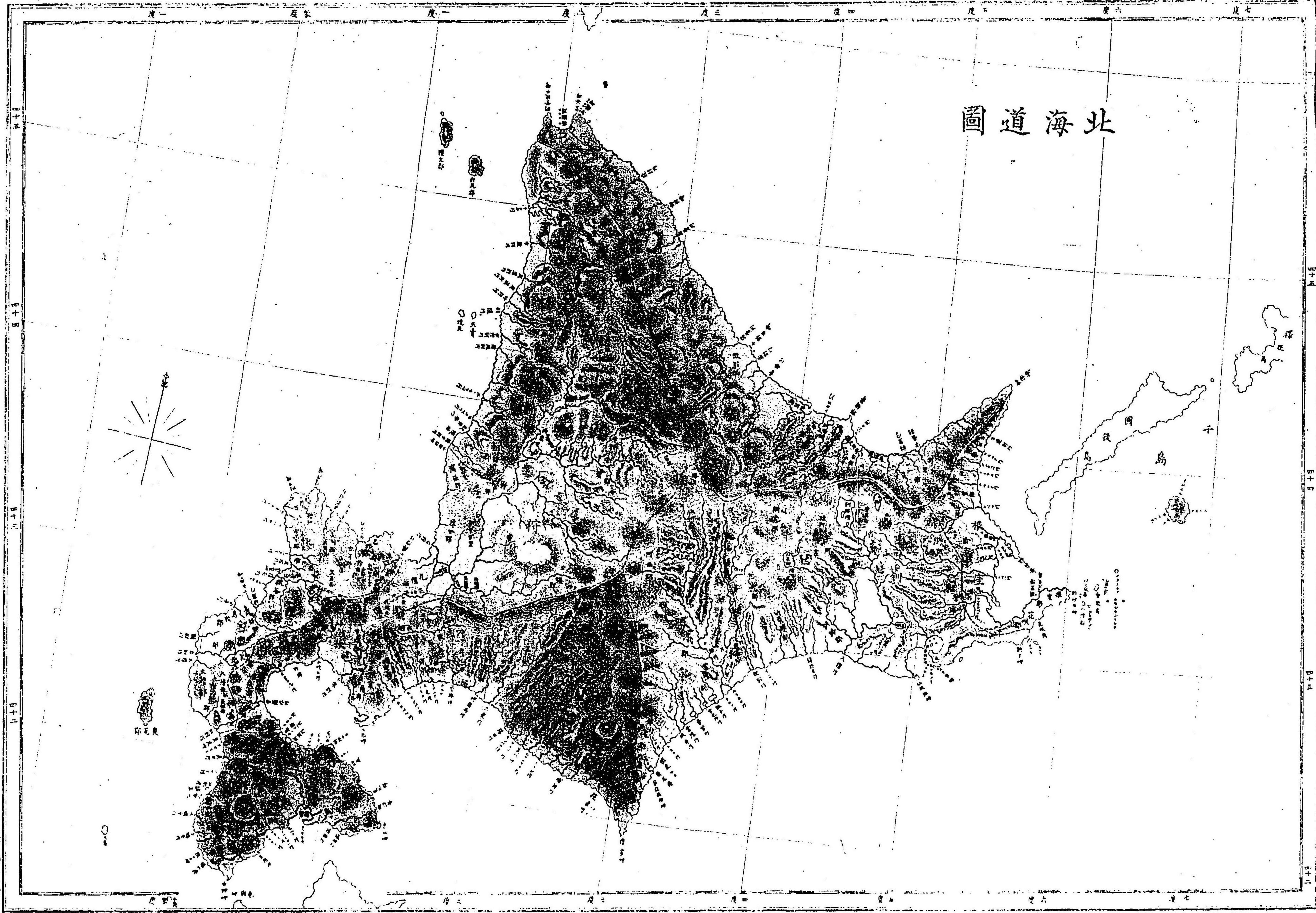
日本地誌略

明治十年
三月

梅原氏製本



北海海道圖



距十
距十一
距十二
距十三
距十四

度一
度二
度三
度四
度五
度六
度七

日本地誌略卷之四

北海道 十一國

渡島國

三面ハ、海ニ瀕シ、北ハ、東部、膽振國、及西部、後志國
ニ接ス、南ハ海ヲ隔テ、東山道、陸奥國ト相對ス、
其最近キ處ハ、六七里ニ過キズ、沿海ノ地、凡九十
三里ニシテ、津輕、福島、上磯、龜田、茅部、檜山、爾志ノ
七郡アリ、

全國、海ヲ東西南ニ受クルヲ以テ、其地勢モ亦三
面ニ開ケタリ、南岸ハ、岬灣ノ出入、一ヲラズシテ、

箱館港中央ノ灣ニ在リ、西ヲ白神岬ト云ヒ、東ヲ
惠山岬ト云フ、其間、舟路相距ルコト、三十餘里、惠
山岬ハ、陸奥ノ藤石岬ト相對シ、白神岬ハ、陸奥ノ
龍飛岬ト相對ス、龍飛岬ヨリ、白神岬ニ至ルマデ、
其間潮汐險惡ナルヲ以テ、舟人呼ビテ中潮ト云
フ、世ニ三汐ノ險ト稱スル者、是ナリ、

白神岬ヨリ、根部田岬ニ至リ、海水一灣ヲ成ス、是
ヲ福山港トス、根部田岬ヨリ、黒走岬ニ至ルマデ、
海水亦一灣ヲ成ス、即西岸ナリ、灣中ニ江刺港ア
リ、福山箱館ト、皆泊舟ニ便ナリ、因リテ、稱シテ、三

港ト云フ、江刺港ノ北ヲ、熊石トス、一好漁場タリ、
黒走岬ヨリ北ハ、往時土人ノ住スル所ナルヲ以
テ、呼ビテ、西蝦夷地ト云フ、西部或ハ西地ト稱ス
ル者、即是ナリ、

惠山岬ヨリ、東ハ、沙岸一帯、明神岬ニ連ル、明神岬
ハ、膽振國ノ江巴岬ト相對シテ、海水ヲ扼スルコ
ト、囊ヲ括ルカ如シ、其間、舟路僅ニ七里ニ過ギズ、
潮汐東ヨリ入りテ、一大灣ヲ成ス、是ヲ内浦ト名
ヅク、即茅部郡ニシテ、灣口ノ南岸ヲ、砂原トス、其
他、小安、戸井、尻岸、内尾、扎部、樅法、華白、尻、熊泊、鹿部、

函館港圖



日本地理志卷之四

三

掛瀨、森尾、白内、鷺木、落部等ノ地アリ、稱シテ六箇場所ト云フ、皆好魚場ナリ、國中ノ山脈ハ、北境ヨリ起リ、直ニ南ニ延キ、一折シテ東ニ走ル者ハ、内浦大川諸岳トナリ、惠山岬ニ至リテ極ル、西ニ赴ク者ハ、佐々、千軒諸山トナリ、知内岳ニ至リ、分レテ兩岐トナリテ、海ニ入ル、一ハ、即白神岬ニシテ、一ヲ矢越岬トス、内浦岳ハ、一名ヲ駒岳ト云フ、惠山ト共ニ噴火山タリ、故ヲ以テ、東岸ノ地處々ニ温泉多クシテ、北境ノ諸山、其最大ナル者ヲ見日黒瀧、烏帽子諸岳トス、

日本地理志卷之四

三 大 鄂 省

諸川皆源ヲ此山脈ヨリ發シ、分流シテ、三面ノ海ニ入ル、其南海ニ入ル者ハ、箱館港ヨリ以東ニ、鹽泊、湯野二川アリテ、港中ニ注ク者ヲ、有川トス、此ヨリ西ニハ、茂邊地、泉澤、木子内、知内等ノ數川アリ、其中知内川最大ナリ、東岸ノ地ニハ、河汲、落部、野田老ノ三川ヲ大ナリトシテ、其他ハ、細流ノモ、西岸ノ地モ亦細流多クシテ、見日、泊、乙部、大鴨手、小鴨手ノ五川較大ナリ、内浦岳ノ西南ノ麓ニ、大沼、小沼ノ兩湖アリ、大沼ノ水流レテ東海ニ注ク、此北岸ニ、温泉アリ、

三港中、其最盛ナルヲ、箱館トス、海水深ク陸地ニ入りテ、箱館山、其東南ヲ擁ス、是ヲ以テ、風ノ順逆ニ管セズ、四時共ニ船艦ヲ容ルベシ、安政六年、外國ト互市ヲ開クニ當リ、此地、及武藏ノ横濱、攝津ノ兵庫、肥前ノ長崎、越後ノ新潟ヲ以テ、其場トシ、稱シテ五港ト云フ、是ヨリ以來、街市日ニ繁盛ニシテ、各國ノ商館、其間ニ屹立シ、全道中第一ノ港タリ、江刺ハ、其盛ナルコト、箱館ニ及バズト雖、鷗島アリテ、港口ニ横タハリ、以テ風濤ヲ避クルニ足ル、故ニ亦泊舟ニ便ナ

リ、福山ハ、舊松前藩ノ城下タリ、故ニ戸口蕃息、亦佳港ナリ、

物産ハ、金銀、銅、及、硫黃、牛馬、鮭、鱒、大口魚、青魚、鯷、干海、蠶、乾、鮑、昆布、和布等ナリ、

後志國

東ハ、膽振ニ界シ、南ハ、渡島ニ連リ、北隅ハ、石狩ニ接シテ、西北ハ、海ニ瀕スルコト、凡六十四里、久遠、奥尻、太櫓、瀨棚、島牧、壽都、歌、棄、磯、谷、岩、内、古、宇、積、丹、美、國、古、平、餘、市、忍、路、高、島、小、樽、ノ、十、七、郡、アリ、全國、東、西、ハ、狹、ク、南、北、ハ、長、シ、後、志、川、東、北、ヨ、リ、來

リテ地勢ヲ中分シ、西南ニ流レテ海ニ入ル、是ヲ以テ、山脈モ亦川ノ南北ヲ分テ、北ハ、石狩ヲ限リ、南ハ、膽振ヲ遮リテ、渡島ニ連ル、北境ノ山岳、其最高キ者ヲ、與市岳トス、岳ノ東ニ和都加多沙登アリテ、膽振ニ跨リ、岳西ニ、主摩登

北海後志國小樽圖



アリテ、石狩ニ連ル、其脈分レテ兩岐トナリ、岩内川ヲ夾ミテ西南ニ走ル、其川北ニ、綿互セル者ハ、惠直、古平、美國、古宇、積丹、核内諸岳トナリ、御神崎ニ至リテ盡ク、其川南ニ、蜿蜒タル者ハ、千勢根尻、巖登、贄志内諸岳トナリ、雷電崎ニ至リテ極レリ、巖登岳ニハ、山中ニ一湖アリ、其水流レテ後志川ニ入ル、

南境ノ山岳ハ、其脈ヲ膽振ノ後方羊蹄山ヨリ發シ、直ニ南ニ走リ、勇拉、目菜、菊場、太櫓諸岳トナリ、渡島ノ黒瀧岳ニ接ス、海岸ニハ太田、奈部、天狗諸山アリテ、海上ニ峙ツ者又奥尻島トス、周廻十四里半、島中ニ鼠多シ、

海濱ハ、岬灣出入シテ、御神崎國ノ中央ニ突出ス、其北ハ、即積丹崎ナリ、積丹崎ヨリ北ハ、地勢皆北海ニ面ヒ、御神崎ヨリ南ハ、地勢皆西海ニ臨ム、其間ニ辨慶雷電等ノ諸岬アリ、後志川ハ、全道五大河ノ一ニ居リ、源ヲ石狩ノ札綏岳ト膽振ノ後方羊蹄山トノ間ヨリ發シ、諸溪澗ヲ併セ、西流スルコト、二十餘里ニシテ、磯谷浦ニ至リ、海ニ入ル、

炭山圖 岩内郡石



後志川ヨリ南ニハ、珠露瀨棚、年別、太櫓別、白別諸川アリテ、其中珠露年別大櫓別ノ三川ハ、膽振ノ山間ヨリ發ス、源遠キヲ以テノ故ニ較大ナリ、後志川ヨリ北ニハ、岩内、尻深、古宇、美國別、古平與市小樽内諸川アリテ、尻深古宇、美國別與市ノ四川

ヲ、較大ナリトス、國中諸邑、其盛ナルハ小樽内、岩内二港ニシテ、岩内、港ハ、岩内川ノ口ニ當ル近時、其山中ニ石炭坑ヲ開ケルヲ以テ、鐵道ヲ通ジ、運輸ニ便ナリ、故ニ漸富庶ヲ致ス、小樽内ハ其盛ナルコト、岩内港ニ及バズト雖第一ノ好漁

場タリ、故ニ夏秋ノ間ハ、舟船常ニ輻湊ス、
物産ハ、石炭ヲ最トス、砂金、金、銀、硫黄コレニ亞グ
熊鷹、海獸、虎班、竹、厚朴、雜木、香葦、海草、昆布、鮭、鱒、青
魚、大口魚、鰻、海鼠等ナリ、

石狩國

東ハ、十勝ニ接シ、南ハ、日高、膽振、後志ニ界ス、北ハ、
天鹽、此見ニ連リテ西ハ、海ニ瀕スルコト僅ニ一
十餘里、石狩、札、舘、夕、張、樺、戸、空、知、上、川、雨、龍、厚、田、濱、
益ノ九郡アリ、

全道中ノ大國ニシテ、中央ハ原野遠ク互ルコト
四五十里、土壤肥沃ナリ、東北ニハ、石狩岳高ク聳
エテ、十勝ノ十勝岳、北見ノ千登蟹牛岳、天鹽ノ天
鹽岳ト相連ル、是全道山脈ノ發スル所ニシテ、其
十勝岳ヨリ、東南ニ起伏スル者ハ、夕張、札舘、諸岳
トナリ、遠ク膽振ノ後方羊蹄山ニ互ル、即東西部
ノ境タリ、其天鹽岳ヨリ西南ニ延互スル者ハ、天
鹽ヲ畫リテ、黄金、阿曾岩、登諸山トナリ、海岸ニ峙
テリ、

石狩川ハ、源ヲ石狩岳ト十勝岳トノ間ヨリ發シ、
留邊、藻、愛、別、筑、別、日、枝、雨、龍、空、知、江、別、札、舘、等ノ諸

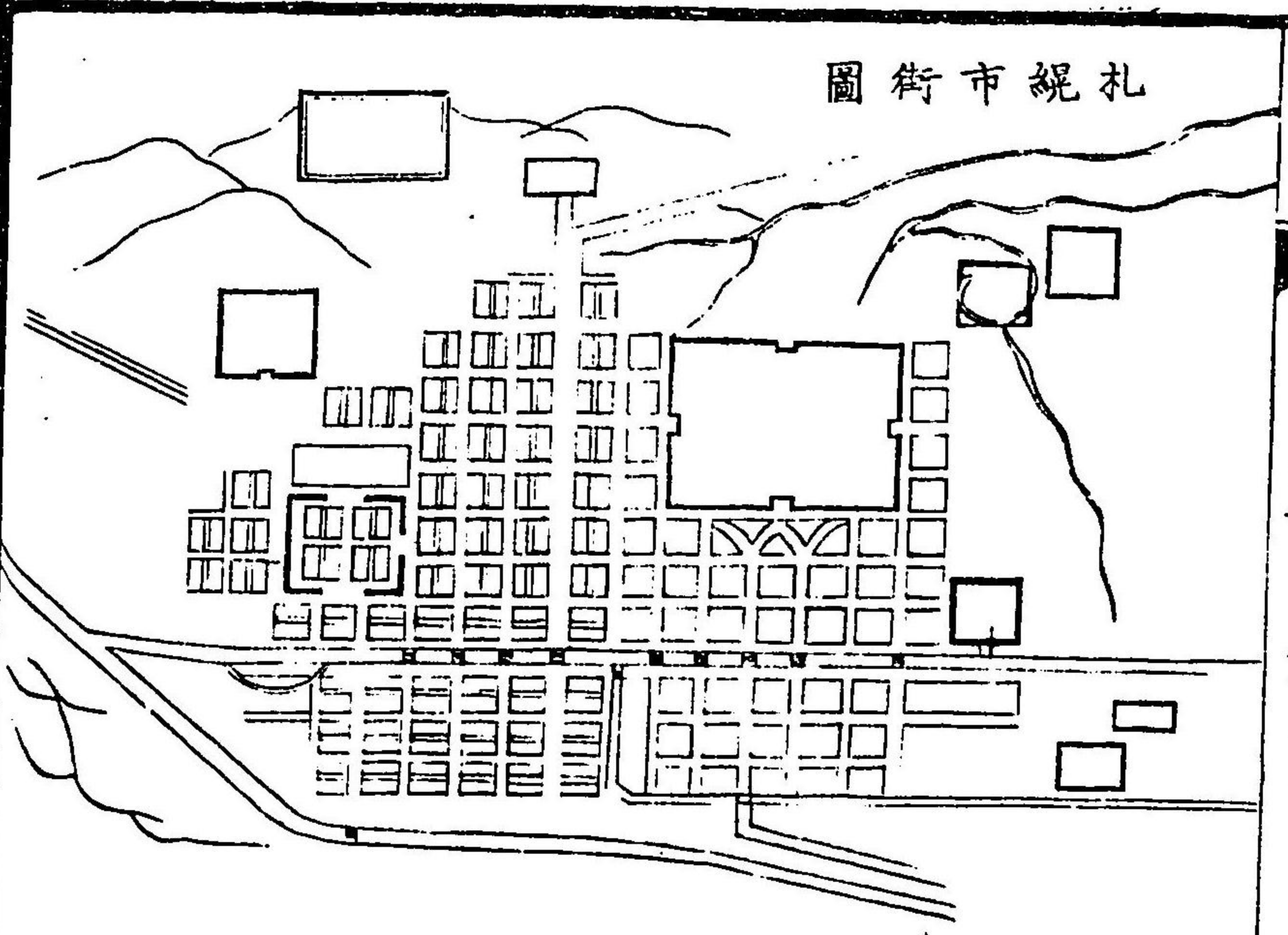
川ヲ併セ國中ヲ横絶スルコト、百餘里ニシニ海ニ入ル、五大河中、其流最大ナルヲ以テ、土入コンヲ西、父川ト云フ、

留邊藥川ハ、千登蟹牛岳ノ麓ヨリ來リ、愛別川ハ、天鹽ノ境ヨリ發ス、十勝石狩兩岳ノ南ヨリ出ヅルヲ、筑別、目枝ノ兩川トス、雨龍川ハ、愛別川ノ西北ヨリ來リ、空知川ハ、十勝ノ境ヨリ出ヅ、此二川諸流ニ比スレバ、較大ナリ、江別川ハ、其源ヲ夕張岳ヨリ發シ、夕張川ト稱ス、丹根良運兩湖ノ水ヲ併セテ、膽振ノ千歳川ト合シ、石狩川ニ入ル、札

川ハ、札舘岳ヨリ出デ、津石狩ニ至ル、諸川多クハ北流シテ、其南ニ赴ク者ハ、獨雨龍川ノミ、丹根湖ハ、長一里餘ニシテ、廣僅ニ六七町ナリ、良運湖ハ、周廻七里アリ、兩湖相距ルコト二里、湖中ニ蘆菽多シ、

札舘ハ、開拓使廳ノ在ル所ニシテ、石狩川ノ南岸ニ瀕シ、海ヲ距ルコト、三里ニ過ギズ、數年以來、街市ヲ建テ、人民ヲ遷シ、山道ヲ開キテ、渡島ノ箱館ニ達スルコト、凡七十里、更ニ傳信局ヲ設ケテ、箱館、及後志ノ小樽、膽振ノ室蘭ニ通ズ、

札幌市街圖



是ヲ以テ、其地年ヲ逐
 ヒテ富庶トナレリ、
 物産ハ、其盛ナル者ヲ石
 狩川ノ鮭、鱒トス、青魚、海
 鼠及鮫ハ、厚田、濱益ヨリ
 出ヅ、其他、海獸、海草、香蓆、
 雜木、鹿、熊、鷲羽等ニシテ、
 濱益ニ砂金山アリ、石狩
 川ヨリハ、多ク潛龍鯨ヲ
 出ダス、

天鹽國

東南ハ、石狩ニ接シ、北ハ、北見ニ界シテ、西ハ、海ニ
 瀕スルコト、凡四十五里、増毛、留萌、苫前、天鹽、中川
 上川ノ六郡アリ、
 天鹽岳ハ、東ニ峙チテ、高峻ナルコト、十勝ノ十勝
 岳ト、相伯仲ス、其脈天鹽川ヲ夾ミテ、南北ニ岐ル、
 北ニ趨ク者ハ、北見ヲ限リ、海ニ至リテ盡ク、其間
 ニ譽手鹽、散鮫、枝姫、遠鍛、藻尻、奇斗ノ諸岳アリ
 テ、南ニ延ク者ハ、十勝ノ雨龍郡ヲ擁シ、千舟、牛平、
 縄田子、汁取、縄尻、爾南、禰、諸干、別、石穂ノ諸岳トナ

海岸ハ、峯巒重疊シテ、平行ノ地無ク、其中小布伊登、最險ナリ、

天鹽川モ亦五大河ノ一ナリ、源ヲ天鹽岳ヨリ發シ、上川、中川兩郡ヲ過キテ、南北山間ノ溪澗ヲ併セ、西流スルコト、凡百五十里ニシテ、海ニ入ル、其大、石狩川ニ亞クヲ以テ、土人呼ビテ、西母川ト云ス、川上處々ニ湖沼多ク、荏葦叢生ス、

其他ノ川流ハ、諸干別、奴布紗ノ、増毛郡ニ於ケル、留萌、緒減別ノ、留萌郡ニ於ケルガ如キ、較大ナル者ニシテ、苫前郡ニハ、古丹別、羽縄、竹別、茂筑別、風

蓮別等アリ、天鹽郡ニハ、宇遠別アリ、皆源ヲ東境ノ山間ヨリ發シ、紆餘曲折シテ、西海ニ入ル、

海瀨、小布伊岬ヨリ、北見ノ境ニ至ルマデ、懸崖斗絶シテ、淺沙遠ク連リ、風濤險惡ナルヲ以テ、留

萌港ヲ除クノ外ハ、舟ヲ泊スベキノ地無シ、唯縄泊、縄別ノ二浦アリテ、僅ニ小船ヲ容ル、ニ足ル

ノミ、海上ニハ、焼尻、手賣ノ二島アリ、皆周廻三里ニ近シ、

物産ハ、鮭、鱒、青魚、大口魚、雜魚、海鼠、昆布等ニシテ、山中ヨリ、沙金、沙鐵、樅、厚朴、香蓆、熊鷹羽ノ類ヲ出

カス、

北見國

東ハ根室ニ接シ、西ハ天鹽ニ界ス、南ハ釧路、十勝、石狩ニ隣リテ、北ハ海ニ瀕スルコト、凡百餘里、宗谷、枝幸、紋別、常呂、網走、斜里、利尻、禮文ノ八郡アリ、全國層巒重嶺、其後ヲ擁シテ、前ヲ阿哥斯科海トス、西北ノ崎ヲ宗谷ト云ヒ、東北ノ崎ヲ知床ト云フ、其間一大灣ヲ成シテ、野捕、千勝布、御神等ノ諸岬アリト雖、率平沙遠ク連レリ、土人コレヲ北海岸ト稱ス、

地勢狹長、西北ヨリ東北ニ連リテ、中間ノ天鹽、石狩、十勝ノ三國ト、相接スル所ヲ、較廣シトス、千登蟹牛岳及上部三計登岳、高ク境上ニ峙チテ、其脈直ニ北ニ赴ク者ハ、千瀨登、沼來牛、岩乳、羊蹄、登諸山トナリ、上部三計登岳ヨリ、一折シテ、東北ニ互

知床岬圖



ル者ハ、神尻、斜里、茶々、登硫、黄纒内、宇布伊諸岳ト
ナリ、海上ニ突出スルコト十五里、其端ハ即知床
崎ナリ、

網走川ハ源ヲ釧路ノ阿寒岳ノ北ヨリ發シ、且汲
日纒、二萬別等ノ諸水ヲ合セ、北流シテ網走湖ト
ナリ、海ニ入ル、是國中ニ在リテ、其最大ナル者ニ
シテ、コレニ亞グテ常呂川トス、其源ハ、上部三計
登岳ヨリ出デ、郡中ノ諸水ヲ合セ北流シテ、海
ニ入ル、兩川ノ間ハ、野捕崎ヨリ數里ノ西テ、千勝
布崎トス、此崎ヲ夾ミテ海ニ入ル者ハ、西ニ諸骨

川アリ、東ニ、勇沸川アリ、皆源ヲ、千登蟹牛岳ヨリ
發ス、其他烏骨内、透別、孟別、斜里ノ諸川アリト雖、
皆細流ニシテ、河口ハ、沙石梗塞シ、舟ヲ容ルベカ
ラズ、

宗谷ハ、泊舟ノ地ニシテ、東北ヲ紗縫崎ト云ヒ、西
南ヲ、納登狹牛崎ト云フ、其間一灣ヲガレ、中央ヲ
滿潮浦ト云フ、岸上ニ朱文、良運ノ兩湖アリテ、其
水相通ズ、漁時ニ當リテハ、商船輻湊シテ、頗繁盛
ナリ、納登狹牛崎ヨリ西南ノ海上ニ禮文、利尻ノ
二島アリ、周廻共ニ十五六里、利尻島ハ、山高クシ

テ、禮文島ニハ、茂尻湖アリ、二島各一郡タリ、紗縫
崎ヨリ、魯西亞ノ樺太島ニ至ルマデ、舟路十八里
ニシテ、潮汐東ニ流ル、コト甚急ナリ、舟人其險
惡ナル所ヲ數ヘテ、宗谷ノ七潮ト稱ス、
國中、湖沼多クシテ、網走、遠淵兩湖ヲ最大ナリト
ス、遠淵湖ハ、周廻十餘里、其水海潮ト、僅ニ一線ノ
沙路ヲ隔ツルノミ、兩湖ノ間ニ、野捕湖アリテ、兩
湖ニ比スレバ、較小ナリ、其他、藻琴、遠苗、年別、猿拂
等ノ數湖アリト雖、皆甚大ナラズ、
物産ハ、鮭、鱒、青魚、大口魚、鰻、海扇、海鼠、水豹、熊、香蕈

樅材等ニシテ、海濱ニハ、沙鐵多ク、宗谷斜里兩郡
ニ牧場アリ

以上五國ヲ西部トス、渡島ノ根部田岬ヨリ
起リテ北見ノ知床崎ニ至ル、其間、沿海ノ地、
凡二百三十五里アリ、

膽振國

東ハ、日高ニ接シ、北ハ、石狩ニ連リ、西ハ、後志ト連
山ヲ以テ界トシ、南ハ、渡島ト一嶺ヲ隔ツ、沿海ノ
地、凡六十五里、山越、畠田、有珠、室蘭、幌別、白老、勇拂
千歳ノ八郡アリ、

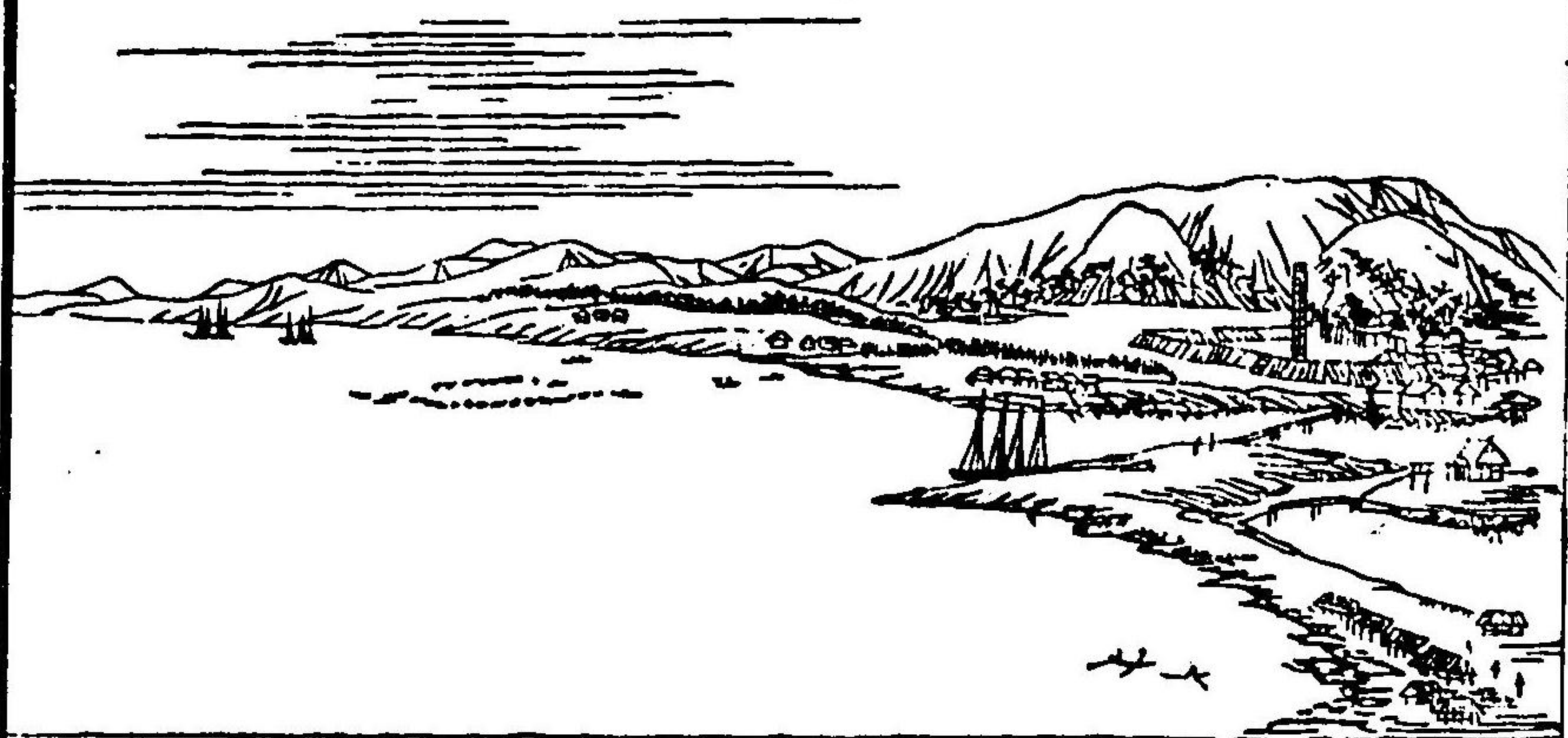
地勢彎曲シテ、海水遠ク陸地ニ入り、一犬灣ヲナス者、即内浦ニシテ、江巴岬其東ニ斗出シ、渡島ノ明神岬ト相對ス、灣内脛胸獸多シ、土人、一月ヨリ、五月ニ至ルマデ、晴和ノ日ヲ待テ、出デ、コレヲ捕ス、其大ナル者ハ五六尺餘アリ、江巴岬ヨリ東ハ、大洋ヲ南ニ受クルヲ以テ、氣候殊ニ暖ニシテ、平沙遠ク連リ、土壤肥沃ナリ、

國中山岳、其最高キ者ヲ、後方羊蹄山トス、形駿河ノ富士山ニ似タルヲ以テ、是ヲ蝦夷富士ト云フ、齊明天皇ノ時、安倍比良夫ノ政所ヲ置キタリシ

ハ、即此地ナリト云ヘリ、山ニ雌雄兩岳アリテ、其脈雌岳ヨリ西南ニ延ク者ハ、昆保、蟹寒、登、勇、羅、浮諸岳トナリテ、後志ノ堺ヲ限リ、其脈雄岳ヨリ東北ニ互ル者ハ、白老、一夜登、江庭、登諸岳トナリテ、石狩ノ界ニ連レリ、

海岸諸山、其最高キ者ヲ、白嶽トス、内浦ヲ隔テ、渡島ノ駒岳ト遙ニ相望ム、沼振別、垂舞二岳ト、共ニ噴火山ニシテ、山上常ニ硫烟ヲ噴キ、冬時ニ至レバ、殊ニ多シ、白嶽ヨリ南ニハ、観内、賤、前、禮、文、華、千布、登、良、志、諸岳アリ、白嶽ヨリ北ニハ、射、鞠、鞠、生、

垂舞岳圖



室蘭阿曾岩諸岳アリ
溪澗源マ後方羊蹄山及
昆保岳ヨリ發スル者ハ
後志川ニシテ賤蒔峠ノ
西ヨリ出ヅル者ヲ珠露
川トス年別川モ亦蟹寒
登岳ノ麓ヨリ出ヅ此三
川ハ皆西流シテ後志ニ
入ル其中最大ナル者ハ
後志川ナリ

諸川ノ東流シテ較大ナル者ハ勇羅浮於砂萬部
小吹石小猿別等ナリ勇羅浮川ハ勇羅浮岳ト後
志ノ太櫓岳ヨリ發ス上流ニハ温泉及鉛山アリ
於砂萬部川ハ蟹寒登岳ヨリ來リ小吹石川ハ昆
保岳ノ南ヨリ出デ、小猿別川ハ扎幌岳ヨリ發
シ、皆内浦ニ注グ沿岸ノ地南ハ渡島ノ六箇場所
ニ連リ原野遠ク闊ク村里相望ム北ハ禮文華峠
ヨリ其路漸險ニシテ室蘭ニ至ル室蘭ト灣ヲ隔
テハ相對スルハ即江巴岬ナリ
江巴岬ヨリ東ハ日高ノ境テ至ルマテ地勢平坦

ニシテ、沙濱遠ク連リ、諸川皆源ヲ北山ヨリ發シ、南流シテ、海ニ入ル、鯤別川ハ、阿曾岩岳ヨリ來リ、奴振別川ハ、奴振岳ヨリ出テ、敷守川ハ、敷守岳ヨリ發ス、其他、白老川ノ白老岳ヨリ出テ、蛇體垂舞兩川ハ、垂舞岳ヨリ出ヅルガ如キハ、其源甚遠カラザルヲ以テ、合スル所ノ溪澗モ、亦多カラズ、獨勇拂、阿圖馬、六皮三川ハ、諸水皆山間ヨリ來リ合シテ、其流較大ナリ

湖沼ハ、支骨湖ヲ最大ナリトス、南北六里、東西四里、其水東ニ溢レテ數處ノ瀑布トナリ、阿札湖ニ入ル、阿札湖ハ、石狩ニ跨リ、亦一大湖タリ、有珠湖ハ、周廻凡十三里餘、湖中ニ四小島アリテ、湖水冬時ニ氷ヲ結フコト少シ、其他履足、宇津等ノ數湖アリト雖、皆小ナリ

國中ノ漁場ハ、有珠寶蘭、勇拂ノ三港ヲ最トス、勇拂港ハ、後ニ垂舞岳アリテ、海濱ハ、地勢平行、戸口繁息シテ、夏秋ノ際、高船輻湊ス、室蘭港ハ、江巴岬、其東ニ斗出シテ、海水灣入リ、終歲氷ヲ結バズ、呼ビテ白鳥灣ト云フ、灣口ニ大黒、辨天ノ二島並立スルヲ以テ、風濤ノ患無ク、渡島ノ

砂原港ト相對シ、箱館ヨリ水程四十四里、石狩ノ札網ヨリ陸路二十七里、官道ノ要衝ニ中ルヲ以テ、東西兩部ノ運輸、皆此港ニ管セザル者無ク、其盛ナルコト、東部ニ冠タリ、有珠港ハ、白嶽ノ下ニ在リ、海水陸地ニ入り、一小灣ヲナシ、灣口ハ、危礁亂石簇立シテ、風濤ヲ禦クニ足ル、故ニ亦泊舟ニ便ナリ、物産ハ、鮭、鱒、鰻、青魚、海鼠、大口魚、膾、鮑、獸、其他、雜魚、海草多クシテ、有珠、室蘭ヨリハ、海扇、海獸ヲ出ダス、礦物ニハ、金、銀、鉛、硫黃アリテ、牛、馬、鹿、熊、鷲、羽、刺

蝸石、樅材、香蓼、紫根等ナリ、

日高國

東ハ、十勝ニ接シ、西ハ、膽振ニ界シ、北ハ、石狩ト山嶺ヲ分チテ、南ハ、大洋ニ面ヒ、沿海ノ地、凡四十六里、沙流、新冠、静内、三石、浦河、樣似、幌泉ノ七郡アリ、沙流、安寧、登、兩岳ハ國ノ正北ニ聳テ、山脈延キテ南ニ互リ、其十勝ノ境ヲ畫ル者ヲ、神居、獵虎、阿茶利、豐似、塘淵、安淵諸岳トス、安淵岳ノ盡タル所ヲ、襟裳岬ト云フ、海中ニ斗出スルコト、三里ニシテ、危巖暗礁多ク、往時ハ、此岬ヲ以テ、口蝦夷、奧蝦夷

ノ界ヲ分テリ、

國中山岳多シト雖、沿海ノ地ハ肥沃ニシテ、處處ニ田畝闢ケ、粟稗大豆蔬菜等多ク、又金銀坑及牧場アリ、但沙濱一帶遠ク連レルヲ以テ、類似ノ外舟ヲ容ルベキノ港灣無シ、類似ヨリ北ハ襟裳岬ニ至ルマデ、皆險崖絶壁ナルニ由リ、往時ハ舟ヲ以テ、岬端ヲ廻リシガ、今ハ安淵岳ノ麓ヨリ、十勝ノ境ニ達スベキ山道ヲ開ク、其間險惡最甚シ、是ヲ沙流々越ト云フ、

猿田川ハ源ヲ沙流、安寧登兩岳ヨリ發シ、南流シテ海ニ入ル、川上ニ、篠平山アリテ、舊源判官ヲ祭レリ、今ハ其祠ヲ沙流ニ移ス、祠下ノ小流ヲ紋別川ト云フ、千重内登岳ヨリ出デ、藻巖岳ニ沿ヒ、南流シテ海ニ入ル、

厚別川ハ、沙流、新冠二郡ノ境ヲ分チテ、千重内登岳ト、羆岳ト、ノ溪澗ヨリ來リ、美朴川ハ、纒尻岳ヨリ出デ、澁茶利川ハ、横岳及美朴岳ヨリ發シ、三利川ハ、愛多佐登岳ヲ源トセリ、其他ノ諸川ハ皆源ヲ神居、獵虎等ノ溪澗ヨリ發シ、各南流シテ、海ニ入ル、其中最大ナル者ヲ、浦河、纒別兩川トス、

新冠ニ源判官ノ城趾アリ、天晴ノ日、登覽スレバ、海ヲ隔テ、渡島ノ惠山及陸奥ノ諸山ト相對シ、風景絶佳ナリ、

物産ハ、金銀、沙鐵、石材、厚朴、香茸等ニシテ、魚ハ、鮭、鱒、青魚、大口魚、鰻、海鼠、雜魚ノ類ヲ出ダス、又牛、馬、鹿、熊、海獸、鷲羽、多く、昆布、殊ニ佳品ナリ、

十勝國

東ハ、釧路ニ接シ、西ハ、日高ニ隣シ、北ハ、北見、石狩ニ界シテ、南ハ、海ニ瀕スルコト、凡二十一里、廣尾、當縁、十勝、中川、上川、河東、河西ノ七郡アリ、

十勝岳ハ、石狩ノ界ニ跨リテ、石狩岳ニ連ル、其山脈其西南ニ互ル者ハ、一折シテ、日高ノ境ヲ畫リ、薩内、竿呂、諸岳トナル、

十勝川ハ、全道五大河ノ一ナリ、土人ハ稱シテ、東父川ト云フ、其源ヲ十勝岳ヨリ發シ、南流シテ、竿呂、女諸、志狩、別、札内等ノ數十流ヲ合セテ、中川郡ニ至リ、釧路ヨリ、來ル所ノ、年別川ト相會ス、其末ハ岐シテ、兩川トナリ、支流ヲ大津ト云フ、本流ハ、浦幌川ヲ合セテ、海ニ入ル、其流凡五十里、兩岸ハ、率卑濕ノ地ニシテ、處々ニ沼澤多シ、

減舟川ハ、十勝川ノ西ニ在リテ、日高ノ境ヨリ來
 リ、南流シテ、海ニ注グ、十勝川ノ外ニ亞ギテ、其源
 遠キ者ハ、此川ナリ、兩川ノ間ニ鉾子、宇屯、内勇當、
 當縁諸川アリテ、皆茂部牛登岳ノ邊ヨリ來リ、海
 口ニ至リ、渚シテ湖トナル、勇當當縁兩川ノ間ニ、
 浦彌登岳アリ、其他ノ諸川ハ、皆減舟川ト同シク、
 源ヲ日高ノ境ヨリ發ス、多クハ細流ナリ、獨豊仁
 獵虎、廣尾三川、較大ナルノミ、
 國中平野多シト雖、海濱ハ、平沙遠連リ、泊舟ノ地
 無シ、只廣尾港ノ東ニ獵虎岬アリ、西ニ芬邊無

伊岬アリテ、其間一灣ヲ
 成シ、僅ニ小舟ヲ容ルヘ
 シ、岸上ハ、土壤肥沃、草木
 繁茂セリ、
 物産ハ、昆布ヲ最トス、鮭、
 鱒、鯉、青魚、海鼠、海獸等ニ
 シテ、石炭、牧馬、香蕈、樺材、
 鹿、熊、鷲羽、及鳥頭、附子、細
 辛、紫胡等ノ藥材ナリ

釧路國

獵虎岬ノ望



ノ北言界表卷四

三十一

東ハ根室ニ我東西ハ十勝ニ界シ北ハ北見ニ連
 リテ正南ハ大平洋ニ臨ム瀕海ノ地凡五十里白
 糠足寄釧路阿寒網尻川上厚岸ノ七郡アリ、
 國中平行ノ地多クシテ阿寒釧路兩川ノ邊ハ皆
 土肥ユテ耕スヘシ海岸ハ奇石怪巖並ヒ峙チテ
 厚岸ノ橋抗石炭ニ奇ナリ厚岸ハ國ノ東ニ在リ
 釧路ハ國ノ中央ニアリテ西ヲ白糠トス此地石
 炭ヲ出クシテ後志ノ岩内ト共ニ佳品ノ以テ稱
 セラル
 國ノ西北ノ隅ニ聳ユル者ヲ黎蕪岳トス其東南

ニ阿寒岳アリ岳ハ東西ヲ分チテ東ヲ雄阿寒ト
 云ヒ西ヲ雌阿寒ト云フ其間ニ大湖アリ周廻ニ
 十四里湖中ニ知宇類矢々丹大小ノ四島アリテ
 知宇類ヲ最大ナリトス湖東ニ墳火坑アリ常ニ
 硫烟ヲ噴ク温泉其傍ヨリ涌出ス亦湖水ノ一源
 ナリ瀑布アリテ其北ニ懸ル高三百尋幅五十尋
 勢極メテ大ナリ湖水南流シテ川トナル皆阿寒
 フ以テ名トシ海岸ニ至リテ久摺川ト相會ス雄
 阿寒岳ノ東ニ摩周西列兩岳アリ其北ヲ網尻郡
 トス北見ニ接ス郡中ノ水皆北流シテ網走川ト

ナル、

雄阿寒摩周兩岳ノ間ニ亦一湖アリ、釧路ト云フ
周廻二十餘里、其大阿寒湖ニ亞ク、湖中ニ登宇島
耶忽兩島アリ、島耶忽島ハ、墳火山ニシテ登宇島
ハ周廻凡一里、崖皆峭絶、舟ヲ載スヘカラス湖水
南流シテ、溪澗十數條ヲ合セ、匯シテ二湖トナル、
小ナル者周廻七里餘、大ナル者チ三四里、コレヲ
當呂湖ト名ツク其水一折シテ西南ニ赴キ阿寒
川ト相會シテ海ニ入ル、即久摺川ニシテ其流凡
五十里土人稱シテ東母川ト云フ亦五大河ノ一
ナリ、

摩周、西別兩岳ノ間ニモ亦一湖アリ、摩周ト云フ、
周廻凡七里餘、清深ニシテ底ヲ見ズ、中ニ一危巖
アリ、神ヲ以テ名ヅク、湖水伏流シテ又發シ、西別
川トナリ、根室ニ入ル、其他ノ川流、雄阿寒岳ノ邊
ヨリ發シテ、海ニ入ル者ヲ、諸路呂恩別、釋別ノ諸
川トス、皆久摺川ノ西ニ在リテ、東ニハ、唯邊寒拍
子一川アリ、南流シテ厚岸ノ灣ニ注グ、
厚岸ハ、海水深ク陸地ニ入りテ、一大灣ヲナシ、
東ヲ愛甲布岬トシ、西ヲ仙鳳趾岬トス、本島及

大黒島其口ニ峙チ、以テ風濤ヲ防グベクシテ、
 灣ノ奥ニモ亦能手登、谷高ノ兩岬相對シ、其中
 自一灣ヲナシ、灣口ニ牡蠣島アリ、支那ノ所謂
 蠔山ニシテ、滿島皆牡蠣殻ナリ、土人採リテ以
 テ食トス、岸上ノ一山ヲ盤羅ト云フ、眺望絶佳
 ナリ、此地ハ、膽振ノ室蘭ト共ニ、東部要樞ノ港
 タルヲ以テ、近年海關ヲ設ケ、輿地ノ運輸ヲ監
 督ス、釧路モ亦久摺川ノ口ニ當レリ、故ニ舟船
 常ニ輻湊シテ、街市殷賑ナリ

物産ハ、石炭、黒水晶、及鮭、鱒、鯉、青魚、牡蠣、海鼠、海獸、
 昆布、海草等ニシテ、鹿熊、鷲羽、香蓼、樺材、厚朴、類
 ナリ、

根室國

南ハ、釧路ニ界シ、西北ハ、北見ト連山ヲ隔テ、東
 一面ハ、海ニ瀕スルコト、凡六十里、花咲、根室、野付、
 標津、芽梨ノ五郡アリ

國小ニシテ、全道ノ東極ニ位シ、南ニハ、納沙布岬
 海中ニ突出スルコト七里餘、遙ニ北見ノ知床崎
 ト相對シテ、其間一大灣ヲ成ス、灣ノ中央ニ、野付
 崎アリ、彎曲シテ海ヲ抱キ、湖水ノ如シ、名ツケテ

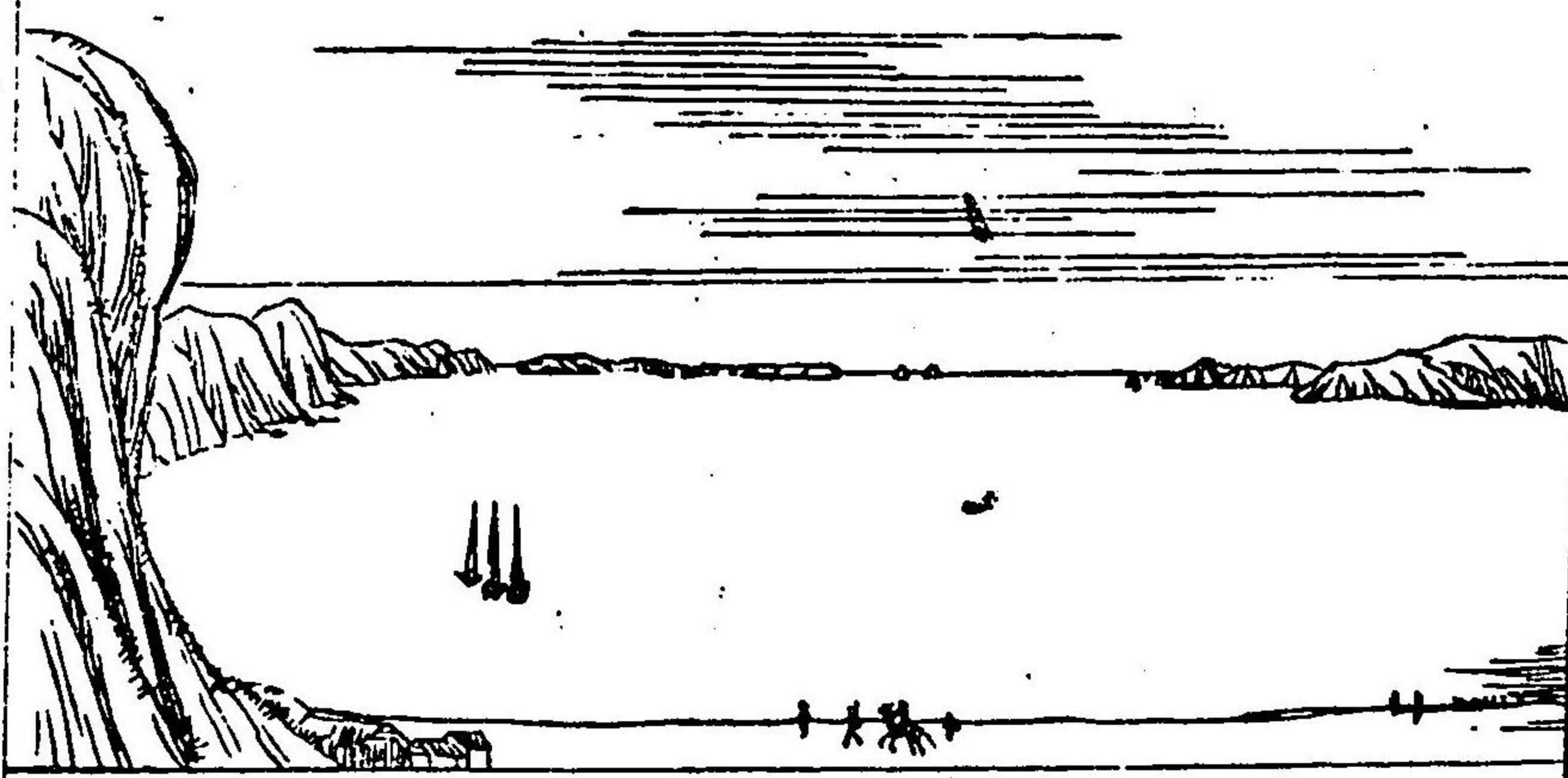
恩彌爾久留ト云フ、根室港ニ連リテ、又一小灣ヲ成ス、千島ノ國後島ト、海ヲ夾ミテ、相距ルコト、五里ニ過ギズ、野付崎ヨリ南ハ、釧路ノ境ニ至ルマデ、土地率卑濕ニシテ、湖沼多シ、野付崎ヨリ北ハ、北見ノ界ニ至ルマデ、岸皆險惡ニシテ、危礁怪巖海中ニ亂立ス、但標津一郡ハ、較平行ナリ、芽梨郡ハ、地勢狹長ニシテ、北見ニ界シ、七箇山、七箇川ノ目アリテ、川ハ皆源ヲ其山中ヨリ發シ、山ハ、皆北見ニ跨リ、境上ニ屏立ス、神尻、斜里、茶々登、硫黃、纒内、宇布伊諸岳等、即七箇山ニシテ、其脈延

キテ海中ニ突出ス、是知床崎ナリ、崎ノ中央ヲ、北見ノ界トス、郡中ノ水流、其大ナル者ヲ、宇遠別、佐伎無伊、君彌別トシ、此三川ニ、標津郡ノ地、宇類、伊知耶爾、支別、及野付郡ノ小絲射川ヲ合セテ、七箇川ト云フ、皆好漁場ナリ、西別川ハ、釧路ヨリ來リ、東流シテ、野付灣ニ入ル、其南ニ風蓮川アリ、亦十勝ヨリ來リ、厚牛別川ト相會ス、是ヲ風蓮湖ト云フ、其水流レテ三川トナリ、海ニ入ル、風蓮湖ノ南ニ、又一湖アリ、恩根ト云フ、周廻凡五里、其大風蓮湖ノ半ニ居リ、岸上蘆葦

業ヲ成ス冬時ニ至レバ湖水凍リテ氷上ヲ往來
スベシ

納沙布岬ハ花咲郡ノ東極ナリ郡ノ南ニ花咲灣
アリ故ニ名ヅク其東ヲ岩岬トシ其西ヲ鉋子岬
トス兩岬ノ間一小灣ヲ成ス即十勝ノ界ナリ海
上ニハ緩利最緩利二島アリ共ニ周廻二里ニ近
シ花咲灣ヨリ納沙布岬ニ至ルマデ凡八里其間
四沼アリ大ナル者ハ周廻凡二里餘其水流レテ
南北ノ海ニ入ル納沙布岬ノ海上ニ小緒解紋茂
尻秋呂々勇流水晶悉勃通多羅久志古旦等ノ諸

花咲灣圖



島アリテ志古旦島ヲ除
クノ外大ナル者ハ八里ニ
至リ小ナル者ハ半里ニ
過ギズ
志古旦島ハ周廻三十四
里其岸多クハ斷崖峭壁
ニシテ灣ノ舟ヲ容ル
ニ足ル者大小二十四所
其最佳ナルヲ間舞ト云
フ島ノ西ニアリテ北ヲ

穴間戸トシ、東ヲ神野門トス、中央ニ鮭部川アリ、西流シテ海ニ入ル、川上ノ地、率卑濕ナリ、物産ハ、鮭、鱒、青魚、海鼠、及雜魚、海獸多クシテ、山中ニ異狐アリ、其毛色、或ハ黄、或ハ黒、或ハ黑白斑ヲ成セリ、文政年中、此土人ヲシテ、花咲ニ移住セシメタルニヨリ、空島タルコト久シ、

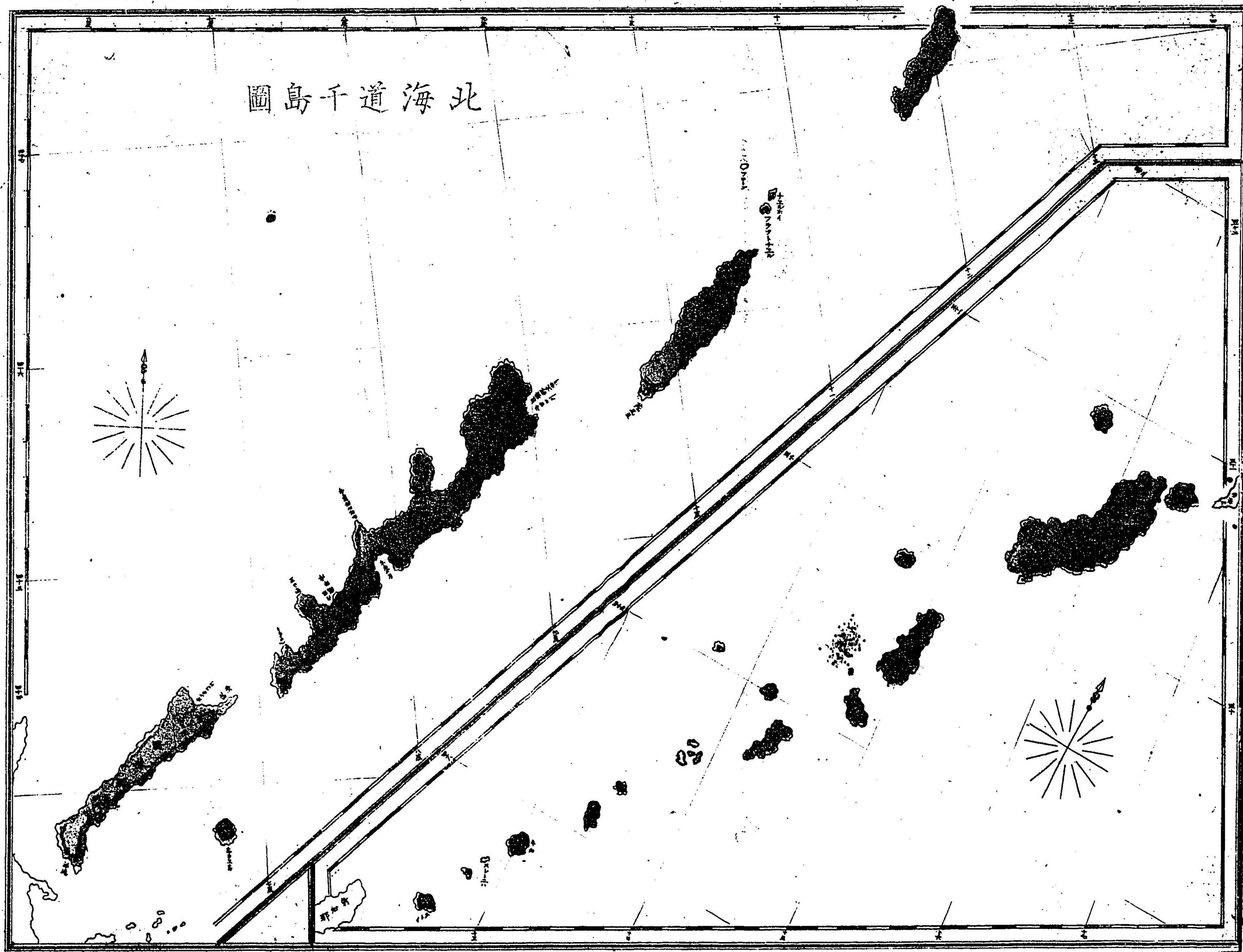
國中、最泊舟ニ便ナル所ヲ、根室、野付兩港トス、野付灣ハ、耶叫乃都、伎母都邊、邇伊諸、本茂志利四島、其口ニ並峙スルヲ以テ、風濤極メテ穩ナリ、小絲射川、及遠櫓、春別諸川、皆灣内ニ注グ、根

室灣ハ、大黒島其前ニ當リ、亦風濤ヲ防クニ足ル、周廻凡九町、灣内ハ、水深クシテ、大船ヲ泊スベシ、夏秋ノ際、漁事尤盛ナルヲ以テ、商船輻湊シ、梶、檣林ノ如シ、沍寒ノ時ニ至ルニ及ビテハ、海水氷ヲ結ビテ、舟楫通ゼズ、一時繁華ノ地、遽ニ變ジテ、寂寞ノ郷トナル、是ヲ惜ムベシトス、物産ハ、志古旦島ヲ除クノ外モ、亦鮭、鱒、青魚、大口魚、海鼠、雜魚、海獸、昆布、鹿角菜等ニシテ、山中ヨリハ、熊、狐、鷲、香葦、樅材、雜木ヲ出ダシ、根室、野付兩港ニハ、菜蔬多シ、

千島國

根室東北ノ海上ニ斷續セラル、大小島嶼二十餘ヲ以テ、一國トス、東南ハ、太平洋ニ向ヒ、北ハ、海ニ臨ミテ、西ハ、灣中ニ國後島ノ端ヲ容ル、國後、擇捉、振別、紗那、藥取、得撫、新知、占守ノ八郡アリ、國後島ハ、周廻凡百六十里、其形狹長ニシテ、擇捉島ヲ距ルコト、僅ニ七里、西ノ岬ヲ、泊港ト云フ、根室ノ野付崎ト相對ス、東ノ岬ヲ歌津ト云フ、擇捉島ノ減田崎ト相對ス、茶々登岳高ク歌津ノ南ニ聳エテ、其溪澗ノ流レテ、西北ニ出ル者ハ、恩禰別

北海道千島圖



川ナリ、恩禰別川ノ南ニ縷緯峯アリ、泊港ノ上ニ
火打山アリ、瀬關登岳其北ニ聳ニ麓ニ唐佛湖アリ、
周廻頗大ナリ、
擇捉島ハ、國後島ニ比スレバ、較大ニシテ、周廻二
百八十里アリト雖、山岳重疊シテ、平地少シ、西岸
ハ、港灣出入シ、内保、振別、斜那、藥取等ノ好漁場アリ、
皆泊舟ニ便ナリ、内保灣ハ、南ノ岬ヲ替白里ト
云ヒ、北ノ岬ヲ舘野津ト云フ、舘野津ノ上ニ梓登
岳アリ、南ハ、和都加釋茂井崎ト相對ス、其間又一
大灣ヲ成ス、是即振別港ナリ、和都加釋茂井崎モ

亦一大灣ヲ隔テ、散府登岳ト相望ム、灣ノ中央
ヲ斜那港トス、岸上ニ本藤湖アリ、其水流レテ海
ニ注グ、散布登岳ノ東ニ、程越、刺牛、悦耶、殖丹、主摩
諸岳アリ、主摩岳ノ東ヲ、藥取郡トス、郡ノ東北ニ、
ハ茂與呂、跡居屋兩岳アリテ相對峙シ、茂與呂岳
特ニ高シ、二川アリ、茂與呂岳ヨリ發スルヲ、茂與
呂川ト云ヒ、跡居屋岳ヨリ出ヅルヲ、恩禰部主伊
川ト云フ、共ニ北流シテ海ニ注グ、跡居屋岳ノ北
麓ニ一岬アリ、高二百丈、懸泉其上ヨリ下リテ海
ニ入ル、是ヲ利鬼別瀑布ト云フ、海ヲ航スル者見
テ以テ標トス、西岸ハ内保灣ヨリ、此ニ至ルマデ、
風濤穏ニシテ、泊舟ノ地ニ乏シカラズ、東岸ハ險
崖一帯、風濤極メテ惡シク、漁ニ便ナラザルヲ以
テ、地ニ居民無シ、唯年茂井灣ノミ較舟ヲ容ル、
ニ足リ、灣上ニ年茂井、及偏祁、半祁ノ三湖アリテ、
年茂井湖最大ナリ、全島ノ山岳、悉火脈ニ當リ、地
ニ温泉多クシテ、國後、及得撫兩島ノ間ハ、冬時ニ
至ル毎ニ、皆氷海トナリ、舟楫ヲ通ズルコト能ハ
ズ、得撫島ヨリ茂與呂崎ニ至ルマデ、水程凡十五
里アリ、

得撫島ハ、一名ヲ獵虎島ト云フ、獵虎ハ、海獺ニシテ、得撫ハ、即紅鱒ナリ、島ニ紅鱒及海獺多キヲ以テ名ヅク、擇捉島ヨリ此島ニ航スベキ西岸ノ岬ヲ、茂尻屋ト云フ、其北ニ瀨履、瀑布アリ、温泉巖上ヨリ直下シテ、海ニ入ル、島中山岳多ク、其最高キ者ヲ、香平山ト云フ、其山脈東北ニ延キテ、瓶和、阿達二岳トナル、阿達岳ノ麓ニ、東西二湖アリテ、西ヲ鬱彌布湖ト云ヒ、東ヲ阿達湖ト云フ、其水各流レテ、海ニ入ル、川ハ、瓶和、知布登良志別二川較大ナリト雖、其他ハ、細流ノミ、全島周廻凡七八十里

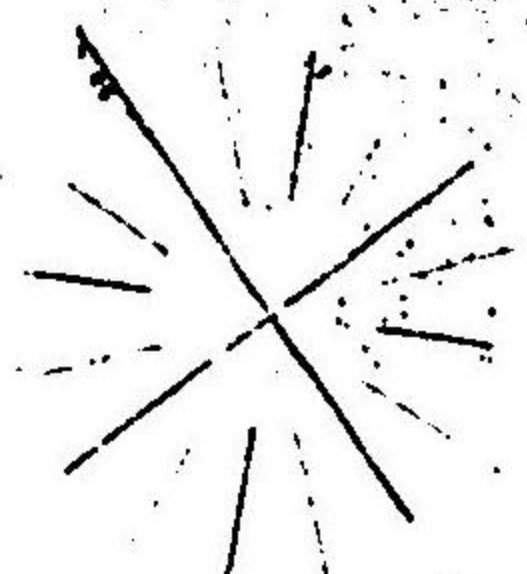
此島ヨリ以北ハ、大小二十餘島斷續シテ魯西亞ノ勘察加ニ至ル、往時ハ、魯西亞ノ管轄ニシテ古利兒連島ト稱セシガ、明治八年易フルニ樺太島ヲ以テシ、今皆我邦ニ屬ス其得撫島ニ近キ者ヲ賦辨登智惠兒、智惠兒保伊二島トシ、コレニ次グテ、布魯頓島トス、其北ハ、新知島ニシテ、即郡ノ在ル所ナリ、新知島ヨリ祁登伊、牛知、須禮、杼仁波等ノ十餘島ヲ歷テ、占守島ニ至ル、諸島其大ナルコト、得撫島ニ及バズト雖、亦六七十里ニ近キ者アリテ、海獺多ク、異狐、及鷺ヲ産シ、鴻雁ハ四時共ニ

去ラズ

物産ハ、鮭、鱒及紅鱒、鯨、青魚、大口魚、海鼠、海膽、海獺、
等ニアリ、熊鹿、鷲、玄狐等多シ、又擇捉島ノ昆布、得
撫島ノ海苔最奇品ナリ、

沖繩島全圖

琉球國全圖

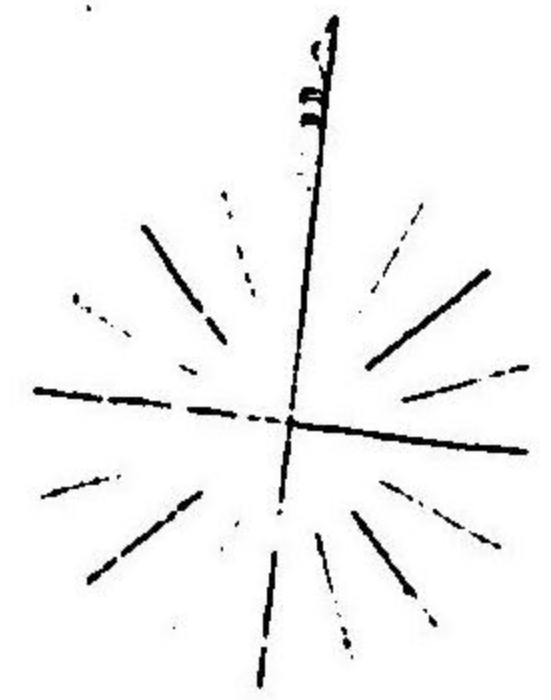


北

部

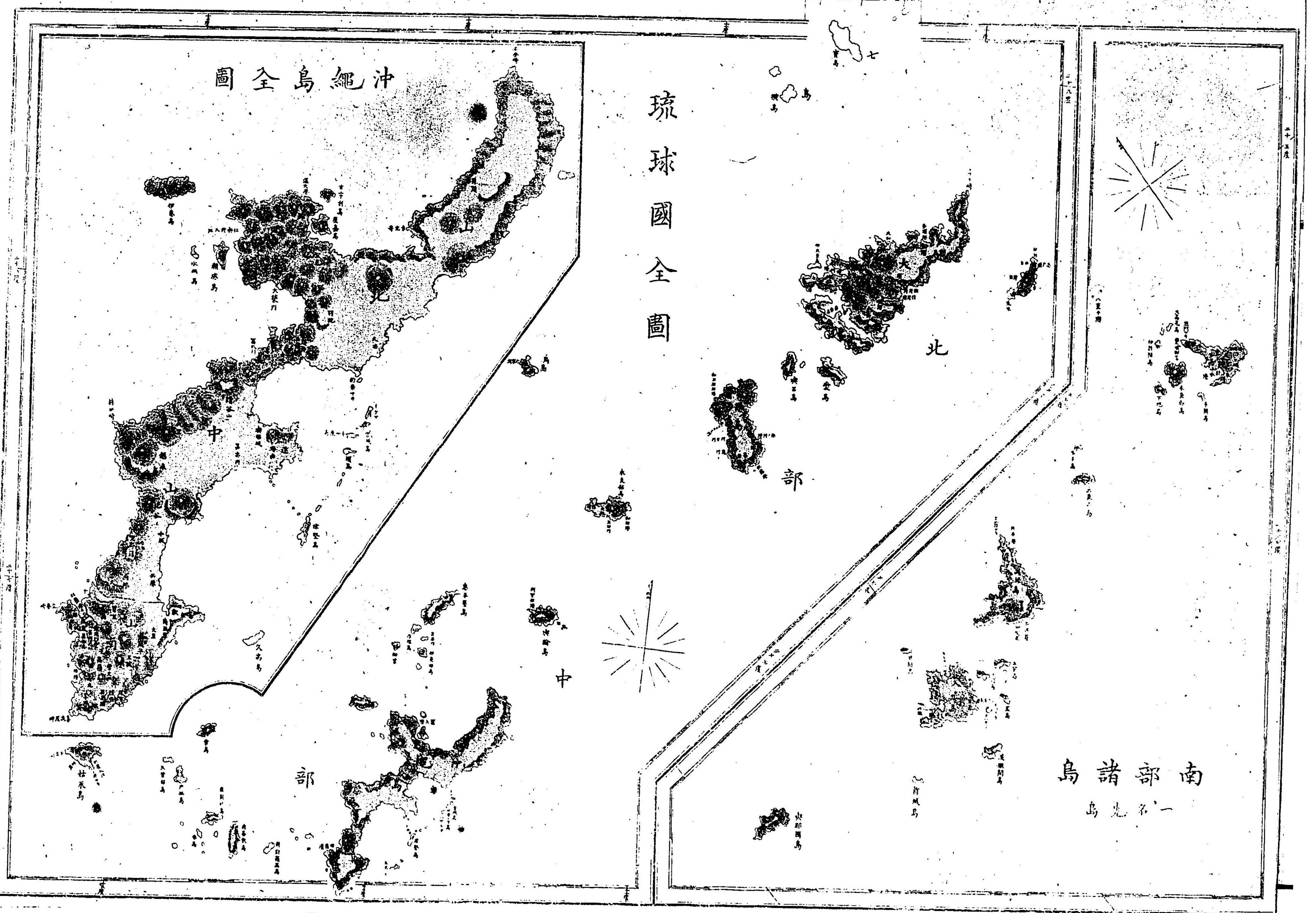
南部諸島

一不先島



中

部



琉球國 三郡

琉球ハ、古呼ビテ宇留間島ト云フ、西海道薩摩國
ノ南百四十里ノ海中ヨリ起リ、大小島嶼、四十餘
ヲ合セテ、國ヲ成シ、臺灣島ノ東、二十六七里ニ至
リテ止マル、東南ヲ太平洋トシ、西北ヲ支那海ト
ス、全國地勢、自分レテ三トナル、北部ハ、總ベテ大
島ト稱シ、南部ハ、概レテ先島ト云フ、其中間ニ位
スルヲ、沖繩島ト云フ、即中部ナリ、省アリテ、間切
ヲ管シ、間切アリテ、村ヲ管ス、間切ハ、中土ノ郷ノ
如ク、省ハ、中土ノ郡ノ如シ、省三、中山ト云ヒ、山南

ト云ヒ山北ト云フ、是沖繩島ニ在ル者ニレテ三
部ヲ併セテ、七十八間切、七百二十一村アリ

北部諸島

今鹿兒島縣ニ屬スト雖、其初ハ、亦琉球ノ地
タリ、琉球ハ、上古ニ、男女二神有リテ大島ノ
北嶽ニ降り、男ヲ志仁禮久ト云ヒ、女ヲ阿摩
美姑ト云フ三男二女ヲ生ズ長男ノ孫、世々
國王タリ天孫氏ト稱ス、後中土ノ人、源爲朝
ノ子尊敦、天孫氏ニ代リテ立ツ、是ヲ舜天王
ト云フ、慶長年中、其數世ノ孫、尚寧王國ヲ舉

ゲテ、島津氏ニ降ル、島津氏乃中部南部ヲ還
シテ、獨北部ヲ收ム、是其今ニ至ルマテ鹿兒
島縣ニ屬スル所ナリ、風土物産、率中部南部
ニ同じ、因リテコレヲ此ニ載ス、

北部諸島、南ハ、薩摩國ノ寶島ヲ距ルコト、三十五
里ニシテ、中部諸島ノ此ニ位ニ少シク東ニ偏ス、
大島、徳島、沖永良部島、加計留麻島、受島、與論島、喜
界島等、凡十許島アリテ、大島最大ナリ、因リテ諸
島ヲ併セテ、コレヲ大島ト稱ス、
大島ハ、其大沖繩島ニ亞グラ以テ、或ハ呼ビテ、小

琉球ト云フ、全島長二十一里許其幅狭キ所ハ二
 三里ニシテ、廣キ所ハ八九里ニ至ル、古ハ阿摩美
 島ト稱ス、史ノ奄美國卽是ナリ、島ノ東北ニ、阿摩
 美嶽アリ、傳ヘテ云フ、男女二神ノ降リニ所ナリ
 ト女神其名ヲ阿摩美姑ト云フ、嶽モ亦因リテ以
 テ稱トシ、遂ニ島ニ及バルナリ、阿摩美嶽ハ今湯
 灣岳ト稱ス、高二百五十丈アリ、島中山脈ノ起ル
 所ニシテ、永明清水、菊花等ノ諸山、南ニ聳エ、其高
 百二十五丈ニ至ル者アリ、其他、疊嶂攢峰簇立シ
 テ、瀕海ノ地ハ、北スルニ隨ヒ、漸平行ナリ、奈瀨古

見、住用、燒内、西東瀨名龍郷、大和濱、須垂、赤木名渡
 連實久ノ十三間切アリテ、奈瀨ヲ首府トス、島中
 ノ佳港タルヲ以テナリ、港ハ北岸ニ在リテ、笠利
 崎其東北ニ斗出シ、海水遠ク陸地ニ入りテ、一大
 灣ヲ成ス、中ニ深井龍郷ノ兩港アリ、其間大船數
 十艘ヲ泊スルニ足レリ、南岸ハ、加計留麻島ト、一
 帶ノ海峡ヲ夾ミテ、其中皆舟ヲ泊スベシ、東西兩
 岸ノ佳港ハ、奈瀨ノ西ニ大和濱アリ、大和濱ヨリ、
 水程七里ニシテ、燒内ニ至ル、港口ニハ、伊太良島
 アリテ、風濤ヲ禦グベク、一水西ヨリ來リテ、灣内

琉球田間圖



ニ注グ、其廣一里ニ近ク
シテ、長三里餘、以テ少船
百餘艘ヲ泊スベシ、其南
ヲ西古見港ト云フ、亦巨
艦七八艘ヲ容ル、ニ足
リ、東岸一ハ、住用港アリ、
住用川此ニ注グ、亦一佳
港タリ、川上ニ、銅鑛アリ、
氣候ハ、冬暖ニシテ夏涼
シク、土壤肥沃、百物繁生

シ、人口稠密ナリ、

加計留麻島ハ、大島ハ南ニ在リ、周廻凡十五里餘、
南ニハ、受島、與呂島アリテ、其周廻、或ハ三里半、
或ハ四里餘、東西ノ二間切ニ屬ス、加計留麻島ヨ
リ、受島ニ至ルマテ、其最近キ所ハ、僅ニ五町ニ過
ギズ、受島ヨリ與呂島ニ至ルマテ、二十町ノミ、
喜界島ハ、大島ノ笠利間切ヨリ、東ニ距ルユト、七
里ニシテ、周廻七里ニ殆シ、伊沙、志戸、桶、東西目、灣
荒木ノ六間切アリ、灣泊ハ、大島ニ航スベキ港ナ
リト雖、僅ニ小舟ヲ容ル、ニ足ルノミ、島中ニハ、

噴火山アリテ、高八十七丈、其他ハ、平地多ク、
 樹木少ク、土人馬糞ヲ焚キテ薪炭ニ易フト云フ、
 喜界古ハ鬼界ニ作リ、西海道、大隅國ノ種子屋久
 又薩摩國ノ寶甌、黒惡石、硫黄等ノ諸島ヲ合セテ、
 或ハ五島ト稱シ、或ハ七島ト稱ス、

徳島ハ與呂島ノ南ニ在リテ、其間僅ニ一海峡ヲ
 隔ツルノミ、周廻十七里餘、山嶽重疊シテ、西北ニ
 互リ、其高二百丈ニ至ル者アリ、海岸ニハ、和爾耶
 井之川、秋徳三港アリト雖、秋徳港ヲ除クノ外ハ、
 或ハ水淺ク、或ハ灣小ニシテ、舟船ヲ容ル、ニ足

ラズ、治所ハ、龜津村ニ在リテ、島中ニ龜津、伊仙、喜
 念井之川、岡前、兼久ノ六間切アリテ、川流數條、源
 ヲ山岳ノ間ヨリ發シ、各流レテ海ニ入ル、其大ナ
 ル者ヲ、足霧神川、阿含川、鹿川トス、然レドモ、コレ
 ヲ中土ノ諸川ニ比スレバ、皆細流ナリ、氣候物産、
 率大島ニ類ス、

永良部島ハ、徳島ニ在リ、凡琉球及其近傍ニ、
 三ノ永良部島アリテ、大隅國ニ屬スルヲ、口、永良
 部島ト云ヒ、宮古島ニ屬スルヲ、奥、永良部島ト云
 フ、故ニ此島ハ、呼ビテ沖、永良部島ト云フ、周廻凡

十四里餘、木比留大城德時ノ三間切アリ中央ニハ、大城岳高ク峙チテ、北麓ニ一池アリ、天田川源ヲ山間ヨリ發シテ、東海ニ注ギ、和泊港ハ其北ニアリ、德島ノ秋徳港ヲ距ルコト十八里、水淺クシテ、泊舟ニ便ナラズ、

與論島ハ、永良部島ノ和泊港ヨリ、東南ニ距ルコト十餘里ノ海上ニ在リ、周廻五里餘、岸皆沙礁遠ク連リテ、東北ノ岬ヲ赤岬ト云フ、沙嘴海中ニ斗出ルコト、十七八町ニシテ島ノ西南ニハ赤佐港アリ、亦水淺クシテ、泊舟ニ便ナラズ、此ヨリ、沖

繩島ノ運天港ニ至ルマデ、海路二十里アリ、物産ハ、五穀、蔬菜、燒酒、甘蔗、砂糖、蕃薯、蕉實、碗豆、落花生、木綿、細布、細上布、麻布、芭蕉布、草席、山藍、椀櫚、蘇鐵、佛桑、野海棠、野牡丹、萬年青、仙人掌、楮、桑、鳳梨、烏木、赤木、黃木、螺石、牛馬猪、鹿、猿、兔等ニシテ、鑛屬ニハ、銅ヲ出ダシ、鱗族ニハ、鮫、鯉、鮒、鰻、鱈、毛魚、針魚、銀鱧魚等アリ、又、蜆、蚌、瑇瑁、真珠、玳瑁、海膽等ヲ産ス、其中、楮ハ喜界島ヲ佳ナリトス、島中ヨリ、硫黃、滑石、雷斧、石灰石ヲ産ス、碗豆、落花生ハ、德島ヲ推ス、諸島共ニ砂糖ノ利ヲ最トス、德島ト稱スル

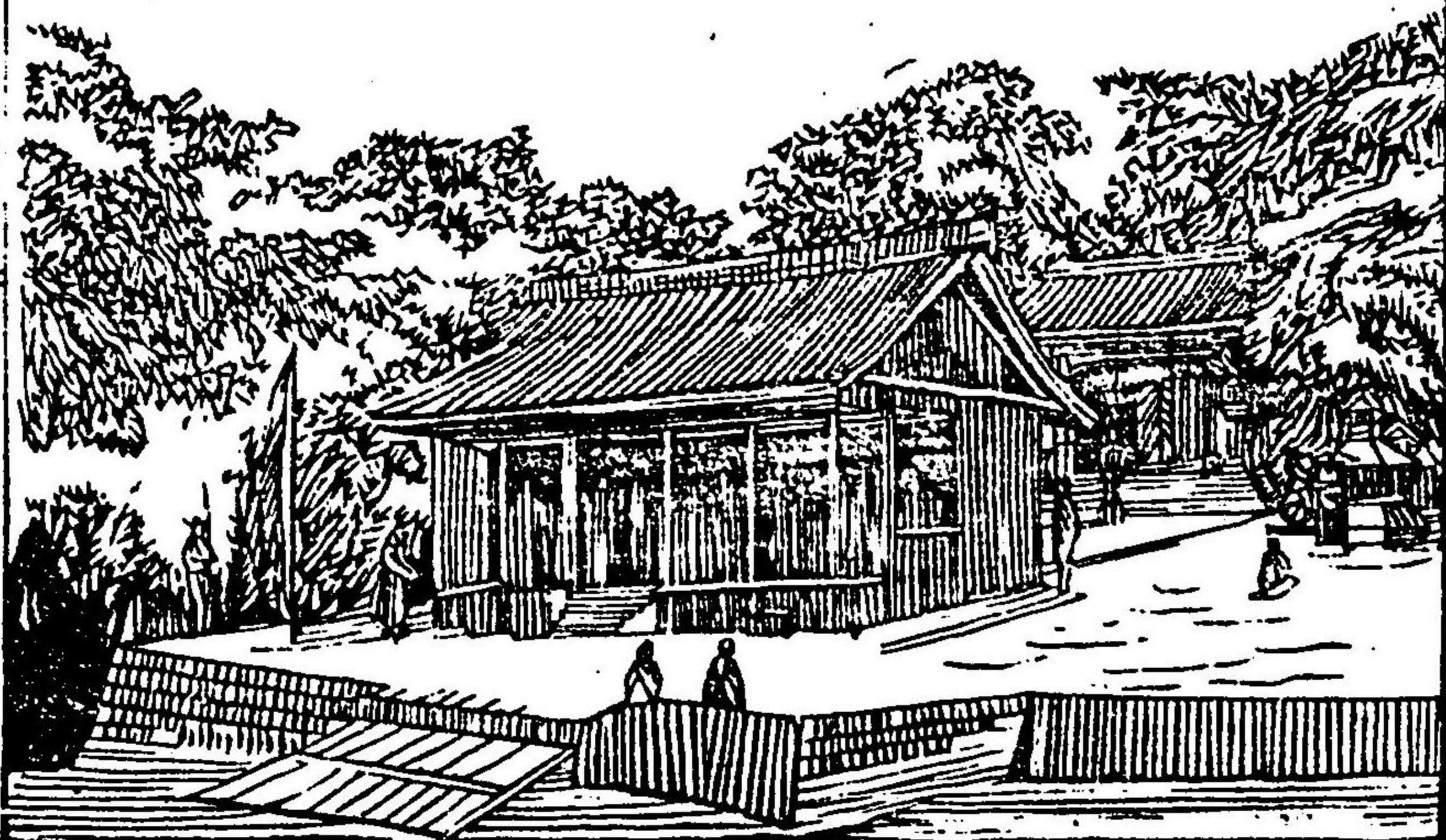
者アリ、大島ト號スル者アリテ、大島ハ毒蛇多シ、呼ヒテ波布ト云フ、支那人ノ所謂飯匙倩是ナリ、入咬マルレバ、立トコロニ死ス、又永良部島ニ、海蛇アリ、永良部鰻ト云フ腊製シテ藥トスミレ、

中部諸島

中部諸島ハ、大小二十餘アリ、コレヲ分チテ二部トス西ヲ計良間諸島ト云ヒ、北ヲ伊平屋諸島ト云フ、中央ハ、即沖繩諸島ニシテ、沖繩島ヲ最大ナリトス、因リテ大琉球ト稱ス、即首府ノ在ル所ナリ、周廻凡七十四里、東北ヨリ長ク延キテ、西南ニ

至リ其形虬龍ノ水上ニ蜿蜒タルカ如シ、長五十六里ニシテ、其濶十里ヨリ十二里ニ至ル、極北ノ岬ヲ平登岬ト云ヒ、極南ノ岬ヲ喜屋武崎ト云フ西ニハ先春前田赤丸等ノ沙嘴アリ東ニハ的奈勝連等ノ沙嘴アリ、勝連ノ沙嘴海中ニ斗出スル

琉球寺院圖



コト二里餘是沿海ノ地勢ニシテ、全島モ亦分チ
テ三省トス中山山南山北是ナリ山北或ハ國頭
省ト稱ス島ノ北部ニ在リ山南或ハ島尻省ト稱
ス島ノ南部ニ在リ其中間ハ即中山ニシテ、較南
ニ偏ス或ハ中頭省ト稱ス中頭省ニハ西原浦添
宜野灣中城北谷讀谷山勝連與那城越來美里具
志川ノ十一間切アリテ、其他ノ首里那霸久米泊
四邑ハ世官子孫ノ住スル所ナルヲ以テ稱スル
ニ間切ヲ以テセス島尻省ニハ、真和志大里玉城
豐見城小祿兼城南風原高嶺東風平佐敷知念具

志頭、麻文仁真壁喜屋武ノ十五間切アリ國頭省
ニハ金武恩納名護久志羽地今歸仁本部大宜味
國頭ノ九間切アリ三省凡三十五間切其最大ナ
ル者ハ國頭省ナリ但峯巒起伏シテ平行ノ地少
シ中頭省ヨリ南ハコレニ反シ田野闊クテ戸口
多シ
島中諸山甚高カラスト雖其脈延キテ三省ニ五
ノ八重頭ハ島尻省ニ時テ辨岳ハ中頭省ニ聳エ
恩納名護佳楚三岳ハ國頭省ニ簇立ス是ヲ五岳
ト稱ス、五岳中佳楚岳百四十餘丈アリ最高シト

ス一名ヲ宇勝岳ト云フ岳ノ南ヲ讀谷山トス北
ハ即名護岳ナリ蘭ヲ産ス恩納岳ハ或、佐渡山
ト稱ス、名護岳ノ南ニ在リテ辨岳ハ首里ノ西ニ
峙テリ山上ニ天孫氏ノ女祀ヲ祀ル其東北ニ
姑場岳アリハ重頭ニ連レルハ周吉山佐高嶺ノ
諸山ニシテ高嶺ハ昔時山南王ノ居城セシ所ナ
リ、
川流ハ源ヲ連山ノ間ヨリ發シ各流レテ海ニ入
ルト雖其長率數里ニ過キスシテ唯富藏大滌饒
波三川ハミ較大ナリ饒波川ハ豐見城間切ノ石

火山ヨリ來リテ長川ト共ニ那霸江ニ注グ長川
ハ源ヲ浦添間切ノ浦添山ヨリ發ス大滌川ハ佳
楚岳ノ麓ヨリ出テ、西南ニ赴キ海ニ入ル其東
ハ、即運天港ナリ、富藏川ハ、金武間切ノ金峰山ヨ
リ發シ東ニ流レテ海ニ注グ、此數川中、那霸江特
ニ大ニシテ、潮水相會スル所ヲ那霸港トス
那霸港ハ、琉球第一ノ埠頭ニシテ、内外二港アリ、
市街凡方半里、二港ノ間ニ位シテ、内ニ面ト、外ニ
負ク、外港ハ、陸地分レテ兩岬トナリ、東南ニ斗出
ス、其間一灣ヲ成シテ、西洋船數艘ヲ泊スベシ、灣

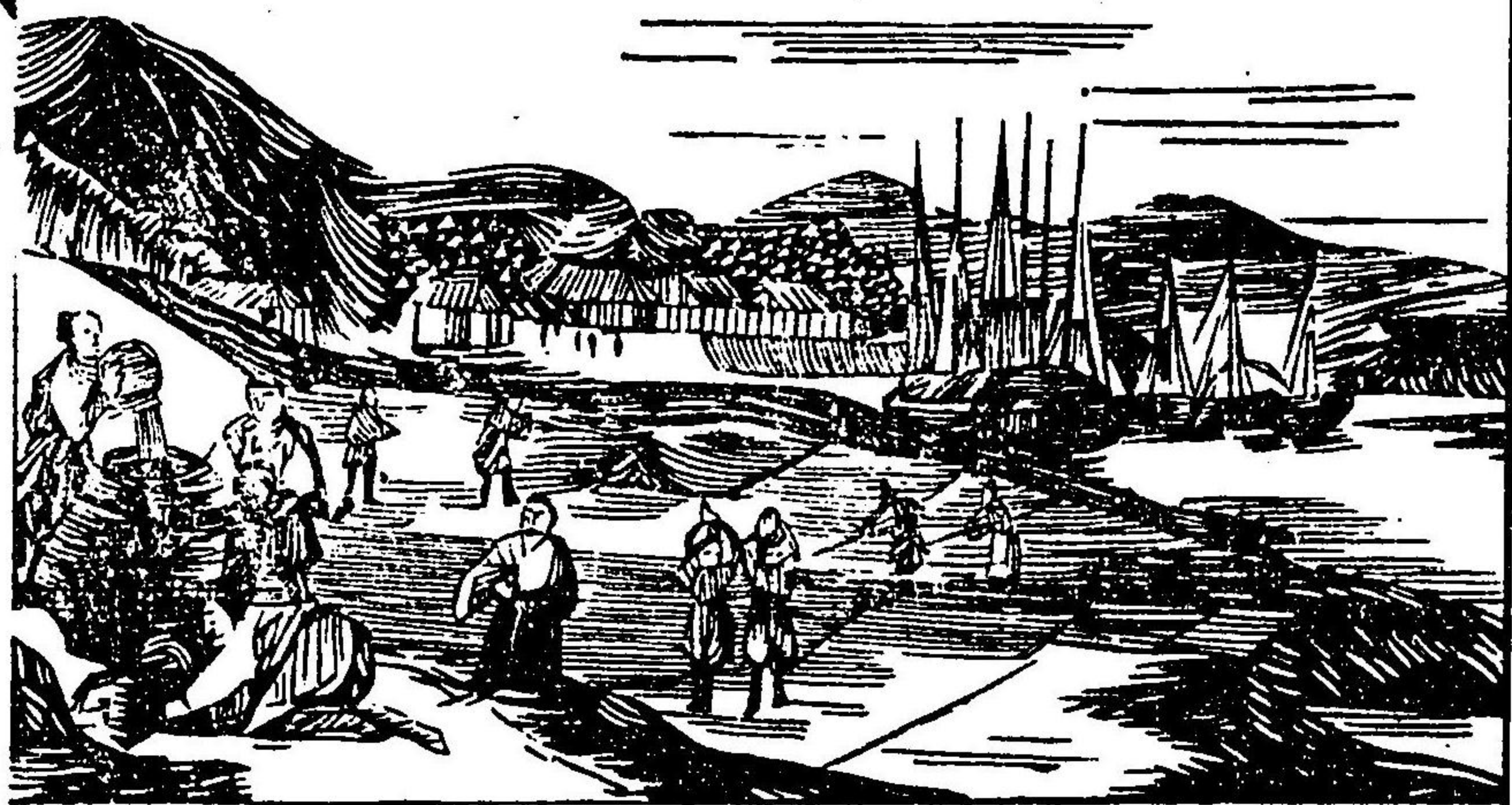
ハ西北直ニ大洋ニ連リ、灣ノ口ニハ、沙礁斷續、自堤ヲ成シテ、風濤ヲ防クニ足ルト雖、出入甚難シ、沿岸ノ地ニハ、辻山、雪崎、波上諸山アリテ風景絶佳ナリ、是ヲ那霸市街ノ西北トス、市街ニ神祠佛龕、及清使ノ旅館アリテ、海潮西南ヨリ入り、江水ト共ニ一大湖ヲ成ス、其周廻一里餘中ニ大小ニ島アリ、小ヲ鶴頭山ト云ヒ、大ヲ奥山ト云フ、奥山ニ寺アリ、海山ノ勝ヲ登覽スベシ、港口ニハ、南北ノ兩炮臺アリ、築クニ礮石ヲ以テシ、江ヲ挾ミテ、兩岸ニ對峙ス、江中ニ一巨石アリ、四圍皆鐵板沙

ニシテ、潮來レバ没ス、舟若シ誤リテコレニ觸ルルトキハ必碎ク、唯炮臺ノ下、中土ノ船三十艘ヲ容ル、ニ足レリ、内港ハ深ニ三尋ニ過ギズシテ、外港ハ、十七八尋ニ至ル、潮水共ニ透明ナリ、那霸港ニ次ギテ、泊舟ニ便ナルハ、運天港ナリ、港口ニ古宇利、屋嘉ノ二島アリ、屋嘉島ハ、周廻二里ニシテ、古宇利島ハ較小ナリ、其間ノ灣ハ、中土ノ船五六十艘ヲ泊スベシ

首里ハ、王城ノ在ル所ニシテ、那霸港ノ砲臺ヨリ、東ニ距ルコト僅ニ三里、山ニ據リテ城

ヲ爲ス、廣袤一里ニ充タズ、都門凡皆掲グル
 ニ匾字ヲ以テス、中山國門ト云ヒ、歡會府門
 ト云ヒ、漏刻殿門ト云ヒ、奉神門ト云フ、四周
 築クニ石壁ヲ以テス、正殿ハ山ノ巔ニ在リ
 テ殿閣二層、南北八楹、皆支那ノ製ニ倣ス、其
 他ノ第宅ハ、漸下リテ山腹ニ鱗次ニ、柱礎多
 クシテ、屋梁低ク、繚ラスニ高垣密樹ヲ以テ
 シ、王及世子ヲ除クノ外ハ、二層ノ樓閣ヲ築
 ク者無シ、地ニ颶風多キヲ以テノ故ナリ、街
 衢ハ道路四達シテ、城南ニハ一帯ノ石山ア

那霸鹽濱圖



ルコレヲ崎山ノ稱
 ス、城北ニハ、升ノ蕎石
 虎諸山アリテ、地勢
 漸高ク、延キテ國頭
 省ニ連レリ、
 泊港ハ、首里ノ西南海濱
 ニ在リ、一水ヲ隔テ、久
 米ト相對ス、其間ニ曬鹽
 場アリ、久米ハ、應永年中
 支那ノ人三十六姓ヲ移

日本地理志

卷一

シ、ヲ以テ、稱シテ唐營ト云フ、那霸ニ屬ス、孔廟
學校アリテ、其俗尚支那ノ如ク、書ヲ讀ムニモ、亦
音ヲ以テシテ、訓ヲ用ヰズ、

今歸仁間切ニ仁與波入江、港アリ、兩岸淺沙遠ク

連リテ、泊舟ニ便ナラズ、一海峡ヲ隔テ、水無瀨

底ニ島アリ、瀨底島ハ、周廻一里餘ニシテ水無島

ハ特ニ小ナリ、二島共ニ今歸仁間切ニ屬シテ、勝

連間切ニハ屬島五アリ、津堅、巴麻、平安座、宮城、伊

計是ナリ、其中津堅島最大ニシテ、北ニ久高島ア

リ、知念間切ニ屬ス、皆周廻三里許、是即沖繩諸島

ナリ、

計羅摩島ハ、那霸港ノ西ニ在リ、支那人ハ、呼ビテ

東馬齒山ト云フ、周廻凡三里、屬島十餘ニシテ、東

ニ在ルヲ、前計羅摩島トス、西ニ在ルヲ座間味島

トス、皆周廻二十許支那人ハコレヲ西馬齒山ト

云フ、東西ニ二島アリ、渡嘉敷座間味ノ二間切ニ

分ツ、赤島ハ、西島ノ西南ニ在リ、周廻凡一里半、其

他ノ諸島ハ、小ニシテ居民無シ、

姑米島ハ、又久米島ニ作ル、即古ノ球美島ナリ、周

廻凡七里ニ殆シ、中城、金城ノ二間切アリ、金城山

ハ、高百二十丈アリ、故ヲ以テ、支那ノ船、琉球ニ赴ク者、必準テ此山ニ取ル、國人、舟船往來ノ爲ニ烽臺ヲ置キ烟ヲ舉ゲテ、以テ針路ニ便ニス島ノ西ノ岬ヲ、半瀬濱ト云フ東ハ、一條ノ沙線、岐レテ兩岬トナリ、海水其中ニ入りテ、一灣ヲ成ス、灣ノ口ニ沙礁アリ、其端ヲ小神崎ト云フ、北ニ、町屋、入江アリ、水淺クレテ舟ヲ容ルベカラズ、南ニ金城港アリ、中土ノ大船四五艘ヲ泊スベシ、那覇港ヲ距ルコト四十八里アリ、

戸無島ハ、天曾那島ト共ニ、姑米島ノ北ニ在リ、二

島相距ルコト一里ニシテ、天曾那島ニハ、人家無

シ戸無島ハ、周廻一里餘、其西北ニ、粟島アリ、或ハ

粟國島ト稱ス、周廻二里餘、戸無島ト相距ルコト

八里ナリ、

伊惠島ハ國頭省ノ西、三里ノ海上ニ在リ、周廻凡

四里七町ニシテ、平沙遠ク岸ヲ繞リ、石山其中ニ

峙ツ、高五十六丈アリ、山下ノ村ヲ、伊江城ト云フ、

稻田多ク、又黍、稷、豆、麥ヲ産ス、北ニ、伊是那島アリ、

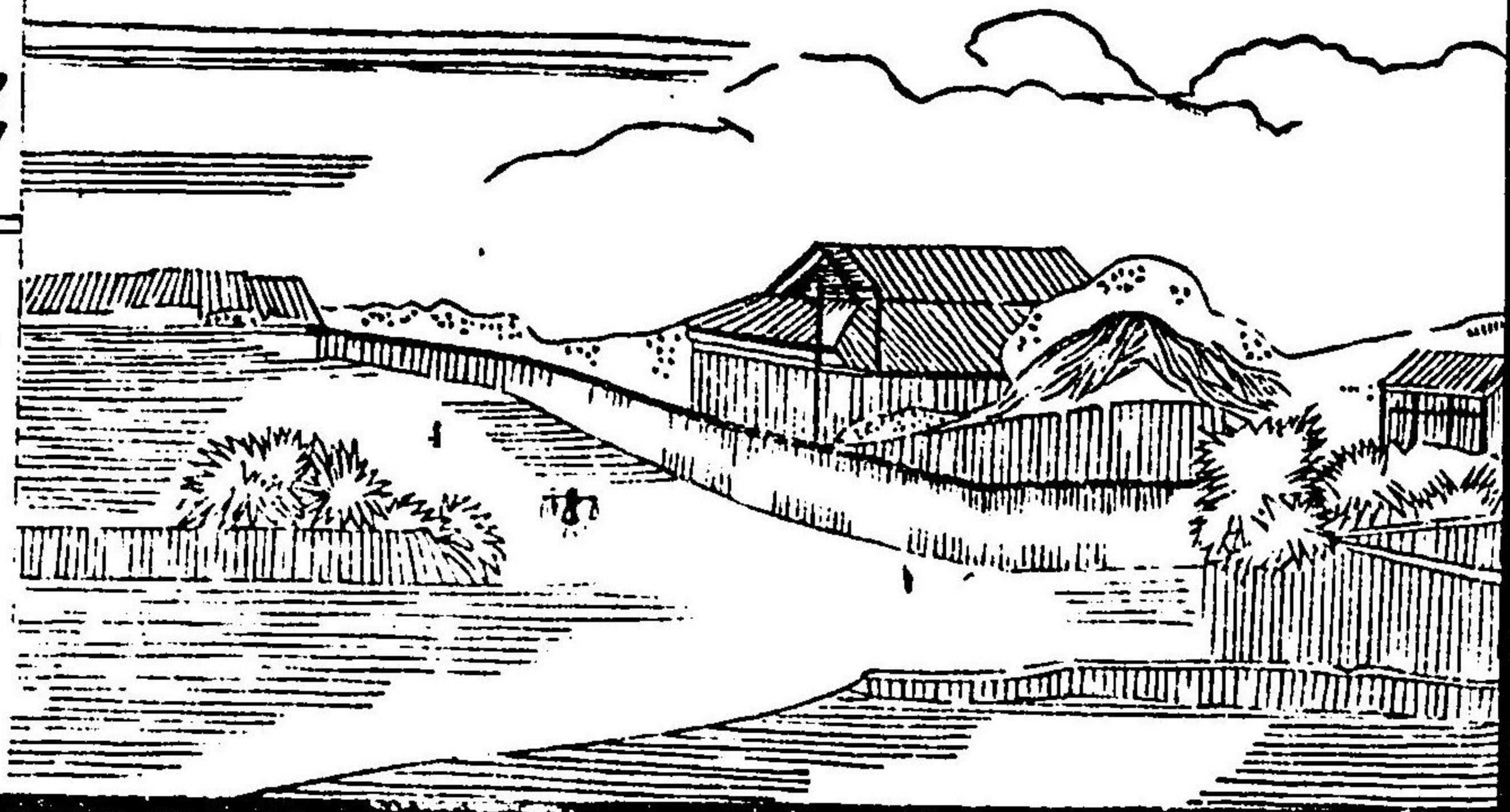
高四十丈、周廻二里半、南北ニ、二島アリテ、コレニ

屬ス、南ヲ柳葉ト云ヒ、北ヲ具志川ト云フ、皆小ニ

シテ、人家無レ、具志川島ノ東北ニ、乃保島アリテ、
 惠平屋島ニ屬ス、惠平屋島ハ、支那人コレヲ葉壁
 山ト稱ス、高一百丈、周廻五里ニ殆レ、葉壁山ヨリ、
 五十四里、北ニ、鳥島アリ島ニ異鳥多キヲ以テ
 名ツク、周廻一里ニ足ラズ、或ハ黒島ト稱ス、支那
 人ハ呼ビテ硫黄山ト云フ、泊ニ屬ス、高五十四丈
 アリ、噴火山ニシテ、草木生ゼズ、地ニ温泉アリ、硫
 黄ヲ採ルノ家、四十餘戸アリ、沖繩島ヨリ、米ヲ饋
 リテ、コレヲ養フ、島ノ傍ニ、灰堆山、尤家埠、移山奥
 ノ三小嶼アリ、

物産ハ、鳥島ノ硫黄、惠平
 屋島ノ礪石、久高島ノ海
 帶菜、佳蘇魚、計羅摩島ノ
 海松、海柏、沖繩島ノ鐵石
 炭、硫黄、硯材、磨石、石灰石、
 具志頭間切ノ蕃蘿ナリ、
 蕃蘿ハ、松露ニシテ草木
 ニハ、薊草、防風、山丹、名護
 蘭、火鳳、海苔、石花菜、鵝胡
 菜、鹿角菜、及檜柏、樟、榕、楓

琉球人人家圖



日本地理志卷之四

支那

榴橙、橘、枇杷、油樹、月橘等ナリ、竹其類最多ク、苦竹、烏竹、方竹、箒竹、梭竹、虎斑竹、觀音竹アリ、其他ノ物産率北部ニ同シクシテ、又紅酒、泡盛鹽豚、朱漆器等ヲ出ダス

南部諸島

南部諸島ハ、中部ノ西南九十里ノ海上ニ在リテ、臺灣島ヲ距ルコト、二十五六里ニ過ギズ、大小島嶼凡二十併セテ、コレヲ先島ト稱ス、其中最大ナルハ宮古、石垣、入表ノ三島ナリ、入表島ハ、西ニ位シ、宮古島ハ、東ニ位シテ石垣島ハ、其中間ニ在リ、

宮古島ハ、丈那人コレヲ太平山ト稱ス、或ハ麻姑山一作迷古ト云フ、西洋人ハ呼ビテ摩志古島トス、蓋麻姑山ヲ訛レルナリ、全島周廻十一里餘、土壌肥沃ニシテ物産蕃殖ス、於呂加、雁股、下地、平良ノ四間切アリ、筑山高ク島中ニ聳エテ、上ニ碧於亭アリ、地勢稍三稜狀ヲ成シテ、西北ノ端長ク海中ニ斗出シ、分レテ兩岐トナリ、右ヲ迫門岬ト云ヒ、左ヲ費鹽那岬ト云フ、沿海四周沙線ニシテ、其舟ヲ容ルベキ所ハ、唯針水港ノ一、港ハ永良部島ト一海峡ヲ隔テ、相距ルコト一里餘ニ過ギズ、

永良部島ハ、即興永良部島ナリ西ニ來間島アリ
 テ、南ニ下地島アリ、下地島ヨリ、更ニ東南ノ海中
 ニ在ル者ヲ、太良末水納ノ二島トス、水納島ノ東
 北ニ、沙礁アリ、東西一里半ニシテ、南北五里餘、コ
 レヲ八重、千瀬ト稱ス、八重、千瀬ト迫門岬ノ間ニ、
 伊計摩島アリテ、伊計摩島ノ西南ニ大高見島ア
 リ、諸島周廻、率一二里ニ止マリテ、太良末島及興
 永良部島ハ、四里餘アリ、是皆宮古島ニ屬スル者
 ナリ、

石垣島ハ、宮古島ノ西ニ在リ、一名ヲ北木山ト云

ヒ、又八重山ト稱ス、蓋史ノ所謂信覺島ナリ周廻
 凡十六里半、宮良石垣、河平、大濱ノ四間切アリ於
 茂登嶽島ノ西南ニ聳エテ、高百六十丈アリ、其山
 脈延キテ北ニ互リ、平窪崎ニ至リテ極ヘリ、平窪
 崎ノ南、五里餘ニシテ、海水東北ヨリ陸地ニ入り、
 一灣ヲ成スヲ河平港トス、中土ノ大船ニ三十艘
 フ泊スベシ、是島ノ西岸ニ在ル者ニシテ、南ニハ、
 御崎尾神アリ、水淺クシテ、大船ヲ容ルベカラズ、
 沿海ノ地、率岬灣出入スルコト、一ナラズ、太平山
 ニ比スンバ、氣候更ニ暖ニシテ、土壤モ亦肥エタ

リ、屬島ハ、皆其西南ニ在リ、武富島ハ周廻二里ニ
近ク、黒島ハ高百二十丈ニシテ、西ニ上離下離ノ
二小島アリ、波照間島ハ、黒島ト共ニ、周廻三里餘
其間相距ルコト、其五六里、是等ノ諸島ヲ併セテ、
八重山ト稱ス、

入表島ハ、八重山ノ西ニ在リ、一名ヲ姑彌島ト云
ス、入トハ、深奥ノ所ヲ稱スル方言ニシテ、表ハ即
於茂登ナリ、此島於茂登嶽ノ奥ニ在ルヲ以テ名
ツク、或ハ稱シテ西表島ト云フ、周廻凡十五里、入
表、古見ノ二間切アリ、東岸ニハ、古見港アリテ、上

離下離ノ二島ト相對レ、黒島ヲ距ルコト、僅ニ二
里餘、北岸ニハ比計川村港アリテ、其北ニ鳩開島
アリ、周廻二十町餘、古見間切ニ屬ス、南岸ニハ、鹿
川港アリニ、西岸ノ越良港ト相表裏ス、越良港ハ、
曾野南ノ兩岬、南北ニ對峙シ、海水其中ニ入りテ、
一大灣ヲ成シ、灣口ニ、内離外離ノ二小島アリ、越
良港ノ北ニ浦内港アリ、諸港皆水淺ク、レテ、泊舟
ニ便ナラズ、全島氣候、物産、率石垣島ニ類シテ、屬
島ハ東ニ小濱島アリ、周廻凡三里、加山島アリテ
コレニ附ス、西南ニ、新城島アリテ、別ニ與那國島

アリ周廻五里餘、高七十丈、曾奈比村、港ヲ距ルコ
ト、凡四十八里餘、臺灣島ヨリハ、二十五六里ニ過
ギス、海岸四周、皆砂礁遠ク連リ、西ニ島竹村アリ、
南ニ鬚川村アリニ、北ヲ宗納村トス、村ニ南太津
口、港アリ、潮満ツル時ハ、小舟ヲ容ルベシ、其東南
ノ洋中ニ沖神島アリ、一座ノ巨巖、波上ニ特起ス
ルノミ

物産ハ、五穀ヲ最トシテ、官古、石垣、兩島、多ク米ヲ
出ダス、細上布、綿布、麻布、芭蕉布、草席、紅酒、特ニ著
ル、紅酒ハ、官古島ヨリ産スルヲ、太平酒ト云ヒ、石
垣島ヨリ産スルヲ、密林酒ト云フ、年々米ト共ニ、
コレヲ沖繩島ニ輸ス、牛、馬、珊瑚、瑤瑁、海參、海石類
ニシテ、西表、蘭風、蘭モ亦名アリ、

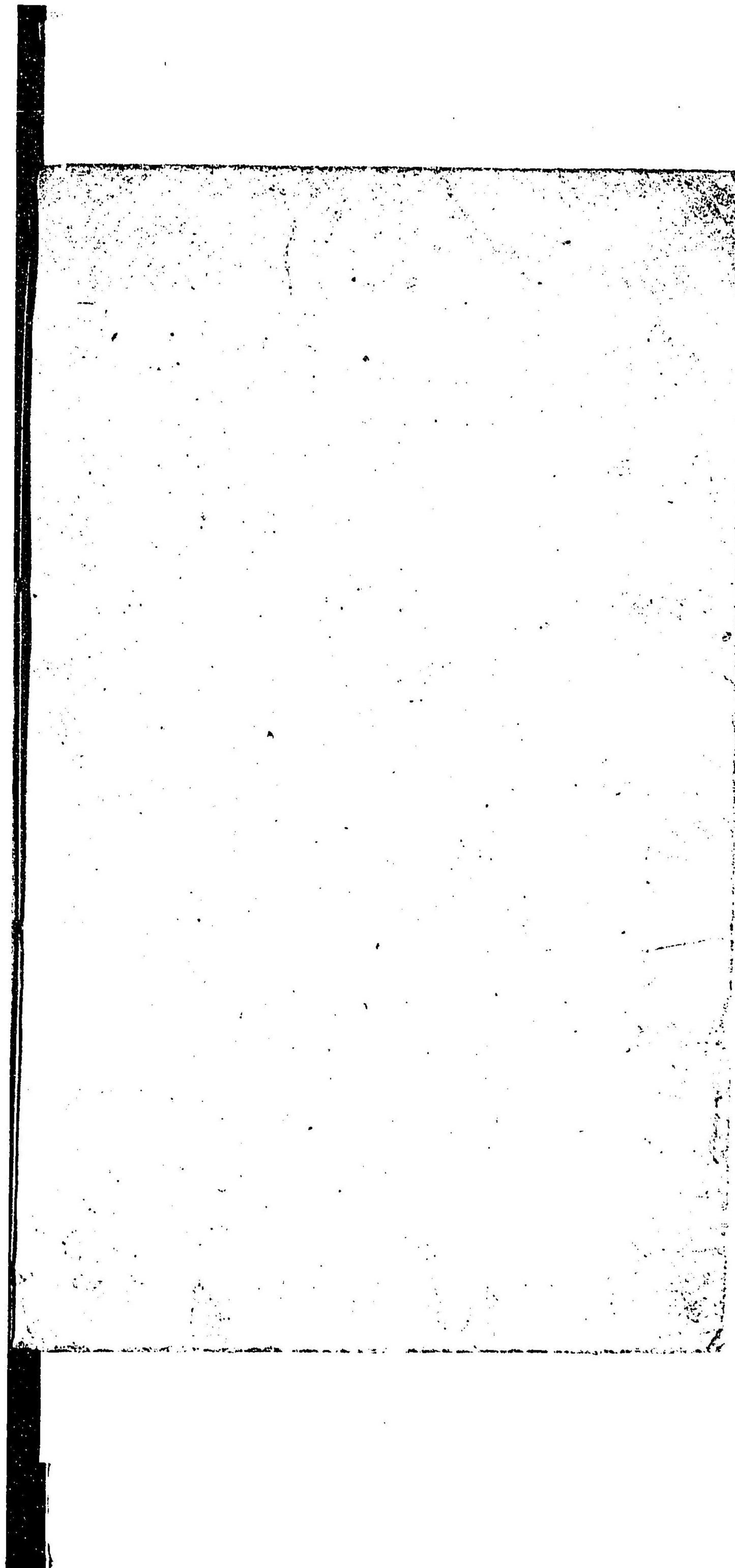
定價金十錢

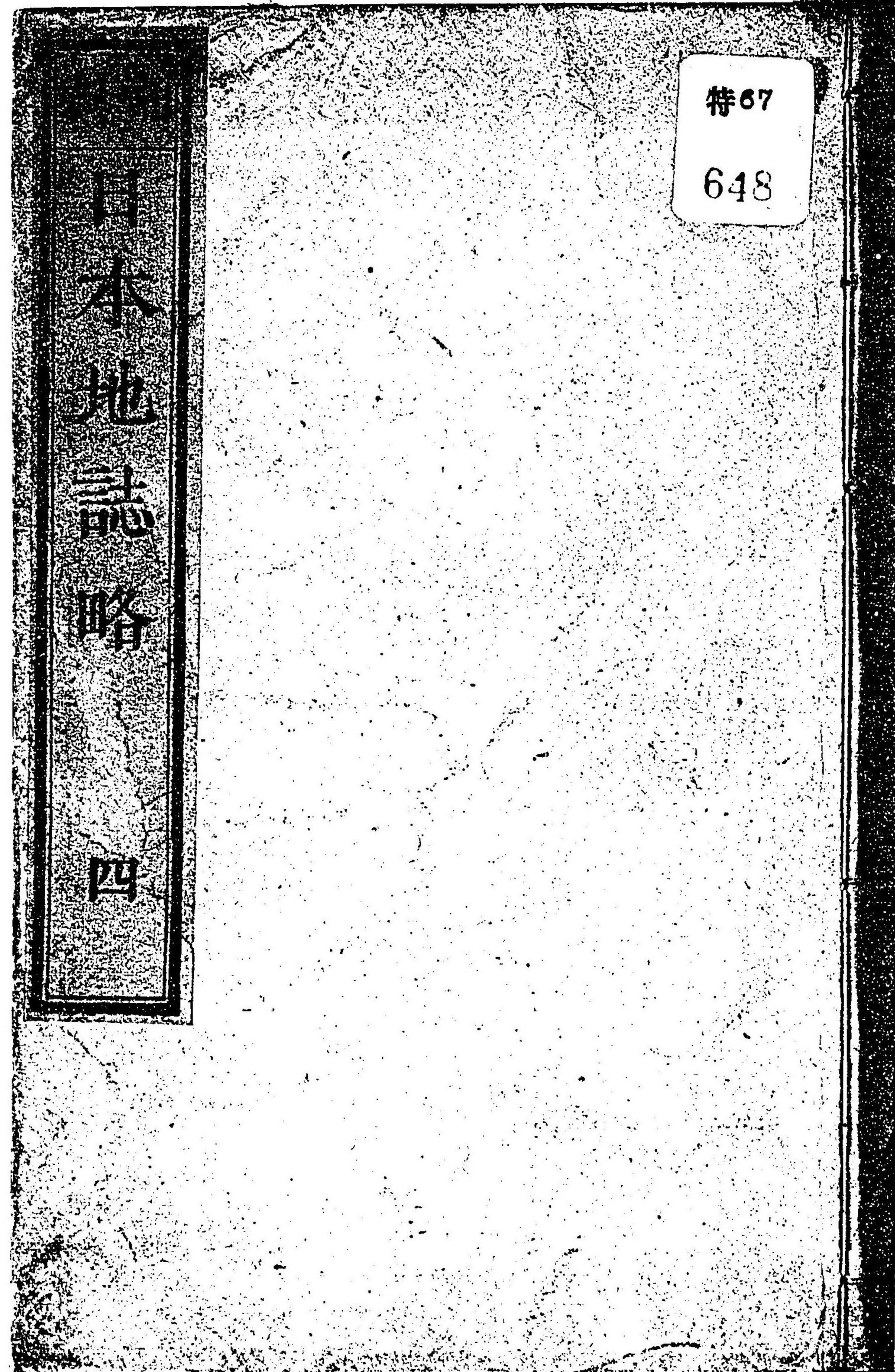
日本地誌略卷之四大尾

明治十二年八月一日翻刻御届
同 九月 刺成

翻刻人

大阪府平民 梅原 亀七
大阪府下東区備後町
四丁目十一番地





特67

648

日本地誌略

四

202570-000-2

特67-648

日本地誌略

師範学校/編

M12

EDE-0110

